

11 教育·文化

基本情報



【年 齢】
28歳
【出身地】
中国・四川省
【転出元】
埼玉県熊谷市
【前 職】
外国語指導助手
【活動時期】
R4.8～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

大学生のとき「幸福の黄色いハンカチ」を見て、素朴な風土が残った夕張に深い印象を持ちました。

去年夕張市地域おこし協力隊に着任した友人から、「子ども・子育て支援担当」を募集していると聞き、大学で教育を勉強した私は日本の教育にも関心を持っているので応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

- ① 保育園やこども園、学校と関わる機関などと連携しながら、活動し、子供たちと交流します。
- ② ゆうぱりっこページのFacebookとinstagramを使って、子ども・子育ての情報とイベントの様子などを発信します。
- ③ 夕張市拠点複合施設「りすた」にあるゆうぱりっこひろばで、季節ごとの装飾を行います。
- ④ 冬休みに、子供たちと一緒に化石のレプリカ作りと中国語勉強などを行うつもりです。

活動内容

●教育機関のイベントの補助

保育園やこども園、学校と関わる機関などのイベントに参加して、手伝っています。

例：くれよん会の野菜収穫と料理作り
こじか保育園の遠足と運動会に参加
乳幼児健診の手伝いなど



●SNSの投稿

ゆうぱりっこページのinstagramを作りました。
Facebookと一緒に使って、子ども・子育ての情報とイベントの様子を発信しています。



●ゆうぱりっこひろばの装飾

夕張市拠点複合施設「りすた」にあるゆうぱりっこひろばで、季節ごとの、装飾を行っています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.instagram.com/yubarikko/>
<https://www.facebook.com/yubarikko/>



ゆうぱりっこ
ページ
Instagram



ゆうぱりっこ
ページ
Facebook

基本情報



【年 齢】
30歳
【出身地】
奈良県葛城市
【転出元】
奈良県葛城市
【前 職】
図書館司書
【活動時期】
R4.4.1～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

学生時代から郷土料理や民芸品、特産物などの地域の文化や個性に関心があり、それらを活かして地縁をつむぐ仕事がしたいと考えていました。中でも北海道は何度訪れても興味の尽きない場所で、北海道で働き暮らしたいと思っていたところ、共和町地域おこし協力隊の募集記事を目にしました。共和町は豊かな特産物、北海道開拓の歴史やアイヌ文化の残る場所など、私が北海道で活かしたいものと強みになる魅力が詰まっている点、任期後の支援をいただける制度がある点から応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

着任してから、町の方に野菜をいただいたり、料理や昔の共和町のことを教えていただいたり…。お誘いいただき町で文化サークルにも入りました。本当にあたたかく気にかけていただいて公私共々心豊かに過ごすことができている。今後は共和町の文字になっていない生活の文化や歴史を町の方との会話の中から知っていき、いつか小さなものでも形にしたいと考えています。また、読書活動に関する活動や教室の開催なども引き続き行い、幅を広げていきたいと考えています。共和町に住む方々が、今にも増して「自分の町は素敵なおとこ」と思ってもらえるように生涯学習の分野から携わっていきたいと思います。

活動内容

●生涯学習教室の実施

「生涯学習教室」として、子どもから老人まで幅広い世代を対象とした様々な教室を開催しています。自分の持てるスキルを活用し、体験活動を主として、「野菜染め教室」や「おさかなモバイル教室」など、身の回りにあるものを材料にしながら教室を開催しています。今後も町民のニーズを見定め、継続して実施していく予定です。



●読書の普及活動

デジタル化が進む社会の中ですが、本を手にして読む機会が減ってきていることと思います。前職のスキルも活かし、共和町で「読書手帳」を作成しました。「いつ、誰の、どんな本」を読んだかを記録し、達成感を味わうとともに本を読む習慣を付けてもらえるようにと、考えています。

また、所属先施設の共和町生涯学習センターには図書室があり、毎月新刊を購入しているのでSNSを活用して周知し、利用者がより一層本との距離感を縮めてもらえたらと思っています。

そのほかに、町内の小学校から要望があり朝の活動として絵本の読み聞かせを行っています。私の活動で少しでも本に触れる機会が増えることを期待しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kikaku@town.hokkaido-kyowa.lg.jp
(電話番号) 0135-67-8795

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://instagram.com/kyowa_chiikiokoshi?igshid=YmMyMTA2M2Y=
(共和町地域おこし協力隊公式instagram)



instagram
QRコード

基本情報



【年 齢】
25歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前 職】

【活動時期】
R4.10～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

地域活性化に興味があり関連の仕事を探してました。奈井江町のホームページをみて公設塾「ななかま」を知り、活動内容に興味を持ちました。教育を通し奈井江町の魅力を子どもたちと一緒に理解し、発見したいという想いで応募しました。日々の学習や体験のなかで子どもたちの成長に繋がる場になるように様々なコンテンツを考えています。

今後の抱負・任期後の目標

子どもたちと一緒に学びある空間をつくっていくことが目標です。小学生の学習習慣が定着できるように指導していきたいです。子どもたちが学びを進める中で、「できた」の数や学ぶことへの楽しみがすこしでも発見出来るように頑張ります。

活動内容

●ななかま

火曜日から金曜日の放課後、土曜日の9時～12時で、開塾しています。子どもたちは宿題や検定学習を中心に取り組んでいます。その他、ななかまノートや15分チャレンジ、読書学習など様々な学習をしています。



●特別活動(歓迎会)

自己紹介、福岡の方言クイズ、すごろく作りを行いました。北海道と福岡の違いに驚く子どもたちもいました。

また、すごろく作りではグループ内で話し合い、子どもたちならではのアイデアでとても面白い作品ができていました。



●広報活動

週に1回、SNS (Instagram・Facebook) にて活動内容等の発信と、月に1回、ななかま通信を発行しています。地域での回覧と、HPへの掲載を積極的に行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) naie.kyouiku.juku@gmail.com
(電話番号) 050-5468-7756

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

[奈井江町公設塾「ななかま」](#) | [奈井江町教育委員会](#) | [健康と福祉のまち 北海道奈井江町ホームページ](#) (town.naie.hokkaido.jp)

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前 職】
京都市 職員
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

求人サイトで、公設塾の立ち上げと、それに伴う人材募集についての記事を見かけ、その場で応募を決めました。
小学生向けの公設塾というもの全国的に見ても珍しく、先進的な取り組みであると共に、子どもたちの基礎的な学習をサポートしつつ、多種多様な体験活動を提供することで、学びを豊かにしていきたい、という教育理念に深く共感しました。

今後の抱負・任期後の目標

公設塾が立ち上がってまだ1年半ですが、今よりもっと豊かな学びを、より多くの子どもに提供できるよう、活動を展開させていきたいです。この公設塾が、奈井江にとって、なくてはならない場所になれるよう、地域も巻き込んでいきたいです。
任期後の目標はまだ決まっていませんが、常に新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。

活動内容

●放課後や休み期間の学習支援

普段は、小学3～6年生へ向けて、主に放課後、公民館にて学習支援を行っています。
夏休みや冬休みなどの長期期間中は、対象を全年まで拡大し、多種多様な体験活動を提供すると共に、宿題のサポートを行います。



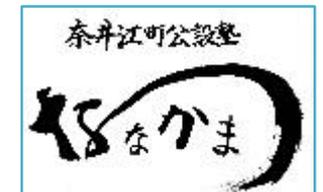
●特別活動

月に1回程度の頻度で、理科の実験や、運動、工作、音楽等、各講師の得意分野を活かした授業等を企画・提供しています。
町民を講師に迎える「まちの先生」企画では、段ボールアート講座、お米の講座等も開催しました。



●広報活動

週に1回、SNS (Instagram・Facebook) にて活動内容等の発信と、月に1回、通信を発行し、地域での回覧と、HPへの掲載を行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) naie.kyouiku.juku@gmail.com
(電話番号) 050-5476-9553

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) <https://www.instagram.com/naie.kyouiku.juku/>
(Facebook) <https://www.facebook.com/profile.php?id=100066496012951>
(ななかま通信) http://www.town.naie.hokkaido.jp/kyoikuiin/naie_nanakama/

基本情報



【年 齢】
44歳
【出身地】
北海道 室蘭市
【転出元】
北海道 室蘭市
【前 職】
団体職員
【活動時期】
R03.04～

協力隊に応募したきっかけ

自身の持つICTスキルを活かした現場貢献ができないかと思案しておりました。また、かねてより学校教育現場への関心がありましたので、移住等の抵抗はあまりありませんでした。

これから更なる加速を続ける高度情報化社会を生きる子供たちに、より良く・より強く生き抜くためのICTスキルを身に付けてもらいたいと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

ICTの普及とその活用には要した時間と成果が比例して現れるものです。その成果を手にするためには、管理側がしっかりとした中～長期計画を作成し、そこで示された方向性を現場側と共有して歩みを進めていく必要があります。そのような状況下において、物事を円滑に進ませるためのハブ的な存在として、地域社会に貢献していけるようにあります。

活動内容

●GIGAスクールサポーター

GIGAスクール構想の推進にあたり、端末の使用ルールや環境整備などの（情報設備の設計や納品を除く）業務にあたっております。

通信ネットワークの監視や子供たちの情報リテラシー教育、時には教職員向けのGIGAスクール端末セミナーなども担当させていただくこともあります。



●校内のICT利活用支援

「ICTを利活用した授業の円滑化」を目的とし、トラブル発生時の対処から、活用時の現場フォローまで柔軟に対応することをモットーとしています。プログラミング教育などにおいては、教室内で特別授業を担当させていただくこともあります。



●地域内でのICT利活用サポート

ICT機器に関するトラブルバスターを主な業務として、静止画・動画の撮影委託などを副業という形で活動しています。

今後は町民向けのオンラインセミナーや、プログラミング塾などの実施を計画しております。



連絡先

基本情報



【年齢】
28歳
【出身地】
新潟県 佐渡市
【転出元】
東京都 北区
【前職】
会社員
【活動時期】
R3.4~
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

きっかけは2つあり、一つ目は選手・ボランティアとして経験した写真甲子園を通して、東川町が私にとって、写真関連の進路や仕事をしようとしたきっかけとなった場所ということ。2つ目は写真を通じた町おこし、ギャラリーの運営といった仕事内容が魅力的であったから応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後の目標として、「写真」を通じた関係人口を増やすことを目指します。任期中に東川町が収集している写真コレクションの活用と写真を学ぶ環境作りを行っていきます。

任期後は、地域おこし協力隊の経験と一般企業での経験をいかし写真を核としたフォトビジネスに取り組みたいと考えています。

活動内容

●文化ギャラリーでの作品展示・展覧会企画

東川町文化ギャラリーで開催される展覧会での写真作品の額装、インストール作業等担当。その他、2022年度は公募展「大地に根を貼り、記憶紡ぐ」展・企画展「植田正治を変奏する 田中仁 research/tribute」を企画実施。他コレクション展企画等。他企画展での作品プリントも併せ担当。



●町民さんを対象としたワークショップの実施

町民さんを対象とした「プリント&セレクト」ワークショップや東川中学校・高校での地域探究授業での写真の撮り方やスマートフォンでおしゃれに写真を撮る方法といった授業での講師を担当。



●東川町国際写真フェスティバル

地域おこし協力隊インターン事業の実施や東川賞受賞作家作品展にて展示指導員や事務局を担当。写真作品の売買取引を匿名で行う「匿名希望展 inHigashikawa」の実施



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) doihara.shoji@town.higashikawa.lg.jp
(電話番号) 0166-82-2111 (東川町役場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

基本情報



【年 齢】
34歳
【出身地】
神奈川県横須賀市
【転出元】
東京都豊島区
【前 職】
民間個別指導塾の教室長
【活動時期】
R2.5.1~R5.4.30
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

10年近く携わった教育業界での知見を活かすことのできる新たなチャレンジの場を探していたところ、「日本仕事百貨」という求人サイトで枝幸町公営塾スタッフの募集記事を見つけ応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

まずは地域おこし協力隊の任期中3年間で、枝幸高校生にとっての学びを探究しつつ、今後につながる枝幸町公営塾の基盤を作り上げることができればと考えています。どのようなかたちになるかわかりませんが、任期終了後も公営塾の活動をはじめとした枝幸町のふるさと教育に寄与できればと思います。

活動内容

●公営塾の運営

枝幸高等学校の生徒を対象とした枝幸町公営塾のオープニングスタッフとして、開設準備を行い、令和3年度の正式開設から塾長を務め、管理運営と学習指導に取り組んでいる。

どのように公営塾の運営を行うか、どのような順序で物事を進めるか等、あらかじめ決められているものではなく、地域や高校、通塾生とのコミュニケーションを通じて、まさにゼロから作り上げていく仕事になります。立場の異なるさまざまな関係者との調整も生じますので、そういった点がやりがいでもあり、大変な部分でもあります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) i01001@ess45.jp (電話番号) 0163-64-7777 (職場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <https://www.facebook.com/esashijuku/>

基本情報



【年 齢】
29歳
【出身地】
北海道 別海町
【転出元】
福岡県 福岡市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R4.4～
(1年目)

活動内容

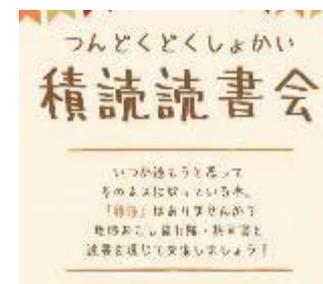
●学校図書館の整備、運営

小学校、中学校の学校図書館にて、図書の整理及び管理、広報、公共図書館との連携、学級文庫設置、教員への資料提供などを行う。



●町立図書館での活動

町立図書館司書と連携した図書館業務のほか、図書館での催しもの実施



協力隊に応募したきっかけ

地元である北海道へのUターンを考え、転職活動を行っていました。北海道内で司書の求人は多くありましたが、「地域おこし協力隊」での採用はあまり見たことがなく、目を引きました。かねてより「本を中心とした居場所づくり」を考えていたこと、また先輩隊員の活動に興味を持ち、応募しました。

●本の読み聞かせ

置戸町地域おこし協力隊として複数名の隊員での地域間交流の際、地域にゆかりのある絵本の読み聞かせを行った



今後の抱負・任期後の目標

今後は学校巡回司書を続けながら、町民との関りを深められるよう、本にまつわるイベント、移動式の書店を限定的に開いていきます。

任期後は、本を中心とし文化に触れられる場所、かつ心の拠り所となるような居場所を作ることが目標です。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) shinko@town.oketo,lg.jp (電話番号) 0157-52-3312

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) https://www.instagram.com/naomi_shorin/

(Twitter) https://twitter.com/naomi_shorin

基本情報



【年齢】
30歳
【出身地】
北海道 札幌市
【転出元】
北海道 札幌市（直前は海外）
【前職】
イベント制作業
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

東京で働いていましたが、海外でのホームステイを経て今後は田舎で暮らしたいと思いました。空き家バンク等を見て家を探していた時に、町HPで偶然こちらの募集が目に残り、図書室と町づくりというミッションに興味を持ち応募しました。住居の補助があってすぐに移住でき、起業補助もある制度は決め手となりました。

今後の抱負・任期後の目標

前半の1年半は図書室の基本的な整備をしてきました。ここからの後半は、より多くの町民の皆様とお話ししながらニーズに応える活動ができればと思っています。図書室をつながる場として活用いただくためには、幅広い年代の方々に集っていただけるよう、催しや企画にも力を入れていきたいです。

活動内容

●町の皆さんと共に図書室整備

図書室をより活用いただくために、なんとなく暗く使いにくかった図書室の整備をしました。棚の配置を変えたり、ボランティア制度を開設して装飾や見出しを子ども達に作ってもらったりしました。また町民の皆さんと作業をして、書庫だった部屋を読書スペースにリニューアルオープンしました。



●広報「まちびとリレー」

町の広報で町民にインタビューをしています。インタビューされた人が次の人を指名するリレー形式で、今では毎月楽しみにしてくれている読者もいます。本を読まない・図書室を利用していない方に向けてのアピールなので、読書家ではなく「町の面白い人」を紹介してもらおうところが肝です。



「広報とよら」で検索！
(生涯学習課のページ)

●図書フェス

幅広い層に親しみを持ってもらいたいと思い、本以外のものにフォーカスしたイベントを度々開いています。「図書フェス」では除籍本の古本市だけでなく、音楽、食、映画、ワークショップなど様々な催しを開きました。未だにコロナ禍ではありますが、工夫をしながら交流の場も復活させていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) kimura.misaki@town.toyoura.hokkaido.jp
(電話番号) 0142-83-2239 (豊浦町教育委員会 生涯学習課 社会教育係)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

とよら図書室Instagram <https://www.instagram.com/toyoura.library/>



TOYOURA.LIBRARY

基本情報



【年 齢】
35歳
【出身地】
北海道 札幌市
【転出元】
北海道 札幌市
【前 職】
イタリア語講師
【活動時期】
R3.10.1~
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

ウポポイを見学しに白老町を訪れた時、白老の町の美しさや人の優しさに魅了された。もともと、都会ではなく自然の多い場所に暮らして子育てしたいと思っていたので、白老町で働くことができないか調べたところ、地域おこし協力隊の募集を見つけた。白老町は実家である札幌とのアクセスも良く、移住のストレスが少ないと感じた。また、家賃が安く、将来的に畑などを作るのにも土地が比較的手に入りやすいだろうと考えた。

今後の抱負・任期後の目標

今後は与えられた活動費を使いながら、白老町のアイヌ文化振興に役立てていく。そのために、4つのアプローチを考えている。①白老町民に向けて白老アイヌ協会などの活動を知ってもらうこと ②白老町外で白老アイヌ伝統工芸品を売る仕組み作り ③次世代を担う子供に向けた教育活動 ④町外や海外からの研修の受け入れ
任期後は、マンガで体験を発信していきたい。

活動内容

●次世代を担う子供へのアプローチ

地域の子供たちと町内のアイヌ文化に触れられるスポットを訪れる試みを1ヶ月に一回行っている。また、保育園や子育て支援センター等でのアイヌ絵本の読み聞かせ会やユカラの披露などを伝承者に依頼して開催している。今後は、子供向けコンサートや上映会も企画していく。



●白老のアイヌ文化を紹介するウェブサイト構築

白老の伝承者に聞き取りを行ったり、アイヌ文化を体験できる店舗などを取材したりしながら、ウェブサイトに掲載してSNSも用いながら白老町外に発信している。この内容をもとに、白老のアイヌ文化を伝承する人や活動を紹介する冊子と地図を作る予定。



●研修受け入れ・アイヌ文化体験の案内

ウェブサイトやSNSをきっかけに、研修や体験の申し込みがあった。中国人留学生1名、名古屋の大学生3名、札幌の大学生3名、札幌のアメリカ人大学院生1名、沖縄からの旅行者1名、群馬からの旅行者1名の体験や研修の案内をし、海外からも問い合わせを受けている。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログ】
(タント・タタ・シラオイ) <https://shiraoui-ainu.site> (インスタグラム、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ) @tanto.tanta.shiraoui

基本情報



【年 齢】
41歳
【出身地】
北海道旭川市
【転出元】
北海道札幌市
【前 職】
JICA北海道 国内協力員
【活動時期】
R4.4～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

中学校と高校と合わせて11年間学校教員として勤めていた経験があります。その中で、学校生活の中では輝くことができなかつたり、自分のやりたいことをみつけられなかつたりと学校生活を楽しめていない生徒の姿を見ることがありました。そのような生徒たちが、学校から少し離れた場所でも楽しみつつ自分のやりたいこと探しができる場づくりをしたいと思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在、塾に通って来ている生徒の多くが「塾に来るのが楽しい」や「塾があってよかった」と言ってくれています。『居場所作り』は少しずつですが、できてきています。これからは、この居場所が生徒のものだけではなく、地域の方々にとっても居場所となることで、生徒と地域の方々が交わる様にしていきたいです。それとともに、老若男女問わず、誰もが一緒に学ぶことができる場づくりを行っていきたくて考えています。

活動内容

●バンドプロジェクト

今まで楽器に触れたことがなかったのですが、塾に置いてあったギターで練習を始め、3年生最後の文化祭で、バンドを組みステージに立つことができました。彼が通う厚真高校では近年ではこのようなことにチャレンジする生徒がいなかったようですが、自分のやりたいことを見つけ、一生懸命練習に取り組んでいました。



●バイク修理プロジェクト

乗り物が好きな生徒と一緒に、バイクの修理を行っています。まずは、部品を取り外し、汚れやさび落としから始めています。細かい部品も扱っているため、修理と共に、バイクの構造を学ぶことができます。修理が終わった際には、塾スタッフが厚真町の林道を走る予定です。



●おにぎりプロジェクト

「世界をちょっとだけ良くする」をテーマのもと、おにぎりアクションを町民の方と一緒に参加する活動です。ポスターを作って町内に配布したり、おにぎりのレシピを考えたりと多くの人に参加してもらえるようにしています。生徒の考えたおにぎりが町内の飲食店で販売される予定です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kyouiku@town.atsuma.lg.jp
(電話番号) 0145-27-2494

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
特になし

基本情報

【年齢】
25歳
【出身地】
千葉県千葉市
【転出元】
北海道上士幌町
【前職】
医療事務
【活動時期】
R3.12～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

MYMICHプロジェクトという1ヶ月間のプログラムに参加をして、雄大な自然を体感したり、人の温かさに触れ、上士幌町のファンになったことが移住のきっかけです。

子どもに関わる仕事がしたいと考えていたとき、幼児教育支援コーディネーターの求人を見つけ、興味を持ったため応募をしました。

今後の抱負・任期後の目標

地域の真ん中にあるこども園も目指し、地域の方とたくさん触れ合いながら、今後も子どもたちと楽しいことをたくさんしていきたいです。
任期後は子どもの可能性を最大限引き出せるような遊び場や、地域の方が集えるようなコミュニティの場づくりをしたいと考えています。

活動内容

●国際交流

アメリカカリフォルニア州に帰省していた、国際交流推進員のメイ先生とリアルタイムでZoomを繋ぎ、現地のスーパーマーケットで店内を紹介しながらお買い物ゲームを行いました。

幼いころから多様な価値観や文化に触れることで自分の中の世界を広げるきっかけになることを願って、今後も取り組みを続けていきます。



●体づくり×地域交流

こども園職員が中心となり作成した「ほろん体操」を、シルバー世代の皆さんと一緒に踊りながら交流を行っています。

地域に大切にしてもらって育った子どもが大人になったとき、またその地域を大切に、地域が発展することに繋がると考えています。今後も地域交流を進めていきたいです。



●国際交流×地域交流

ベトナムの文化をスライドで紹介し、Google earthを用いて街並み散策をしました。その後、町内の牧場で働いているベトナムの方をお招きし、伝統的な料理を一緒に作り、交流をしました。

子どもたちは普段食べることのない味に戸惑いながらも楽しんでいる様子で、最後はベトナム語でありがとうと元気に挨拶をしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) itou-akari@town.kamishihoro.hokkaido.jp
(電話番号) 01564-2-3686

基本情報



【年 齢】
34歳
【出身地】
東京都 板橋区
【転出元】
神奈川県 横浜市
【前 職】
自営（フリーランス）
【活動時期】
R2.9～ R5.8
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

学生時代から北海道に移住したいと思っていたが、手に職をつけるため、大学卒業後は神奈川や東京で書籍や出版に関わる仕事をしてきた。前職が一区切りついたことと、30歳の節目を機に移住を選択。地域おこし協力隊を選んだのは、協力隊という立場にあることで町に溶け込みやすく、今後の活動がしやすいと感じたから。

今後の抱負・任期後の目標

引き続き、町の仕事（ふるさと納税等）や本に関わる仕事を続けつつ、可能であれば行きたいときに行きたいところへ行けるような体制を整えながら、北海道を拠点に仕事を続けていきたい。

活動内容

●大樹高校図書室の整備

司書不在でほぼ使われていなかった図書室を、まずは経年に耐えられない本の除籍（廃棄）から始め、少しずつ生徒にとって使える本棚にバージョンアップした。現在では、昼休みや放課後には常に生徒がいる空間になっている。



●宇宙のまち大樹町note

ネット上で検索しても出てこない大樹町に関する情報をあらゆる角度から取材してPRしている。編集方針を定め、他のライターとも相談しながら戦略的に情報発信したことで、この1.5年でフォロワー数や各記事のビュー数も伸びることができた。 URL <https://taiki-town.note.jp/>

●大樹町子育て応援手帳の制作（進行中）

大樹町の子育てに関する情報を集約した「子育て応援手帳」（冊子）を地域のお母さんたちと共に制作中。町内の支援制度や、ボランティアサークル等の紹介、有識者へのインタビューなどを掲載予定。

●書店活動（補足）

副業的に行っているのですが、厳密には協力隊の活動とはいえ卒業後も育てていきたい事業。本と出会うきっかけが著しく少ない地方において、厳選した本を携えて、各地で移動販売を行なっている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kikaku-kakari@town.taiki.hokkaido.jp
(電話番号) 01558-6-2113 大樹町役場 企画商工課 企画係

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(媒体) 宇宙のまち大樹町note <https://taiki-town.note.jp/>
月のうらがわ書店 <https://www.instagram.com/tsukimitaini/>

基本情報



【年齢】
30歳
【出身地】
千葉県 千葉市
【転出元】
北海道 札幌市
【前職】
建設コンサルタント
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

地域おこし協力隊の業務内容（学芸員）に興味があり、応募しました。募集時点で中標津町の航空写真を見たときに、町内に広く張り巡らされている「格子状防風林」が非常に特徴的で、この場所で自然に関する調査研究を進めていくことに魅力を感じました。

今後の抱負・任期後の目標

格子状防風林だけにとどまらず、中標津の自然を幅広く知って、それを町内外の人に発信するような活動を進めていきたいです。
格子状防風林内の生物については、あまり知られていないので、調査で得られた成果を展示や講演、論文など様々な形で広げていきたいです。また、町民の方々がもっと気軽に自然と触れ合えるきっかけづくりを、企画していきたいです。

活動内容

● 格子状防風林内の生態系調査

格子状防風林内をどのような生き物が利用しているのか把握するため、鳥類、哺乳類、植物、昆虫等の生息状況把握調査を行います。現在は、鳥類調査（鳥類ラインセンサス）と哺乳類調査（捕獲調査、自動撮影カメラ調査）を中心に取り組んでいます。



● 開陽台展望館での格子状防風林に関する展示設営

町の観光施設である「開陽台展望館」内にて、格子状防風林の歴史と自然をテーマに、展示パネルやジオラマの展示作成を行っています。展示は2022年5月から開始しており、今後も調査で得られた情報を新たに追加したりと、格子状防風林に関する情報発信の場として活用する予定です。



● 環境教育プログラム（なかしべつエコサークル）の運営

中標津町内の小学生を対象に、子ども向けの環境教育プログラムを運営しています。内容は、町内にある公園でのバードウォッチングや、格子状防風林内でのゴミ拾い、自然散策など、自然と触れ合うきっかけづくりとなるような活動を行っています。2022年5月～2月の期間で全9回の活動を予定しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） m-nakazono@nakashibetsu.jp
（電話番号） 0153-73-3111（教育委員会 学芸係 内線282）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（中標津町郷土館facebook） <https://www.facebook.com/nakakyou>

基本情報



【年齢】
34歳
【出身地】
茨城県利根町
【転出元】
熊本県熊本市
【前職】
コンサルタント会社
【活動時期】
R3.4.1～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

将来は自分が身につけた海外経験や語学力を社会に還元していきたいと考えていました。また、自然豊かな場所で暮らしたいという願望がありました。羅臼町で語学教育に関する募集があり、このような特色ある場所で語学活動することで、日本がより世界に貢献することに繋がると考えました。

今後の抱負・任期後の目標

隊員一人が英語や中国語を教えるという形ではなく、誰もが語学を当たり前で教えられることができるスタイルを確立させ、羅臼町だけでなく、日本全体の語学教育の変化に繋がるように、活動していきます。

活動内容でのコミュニティについてのご紹介は、その一歩として着実に始まった形の一つです。「本当に自分の人生を豊かにする」ことを自分から作っていける人が集まる環境を作っていきたいと思います。

活動内容



<羅臼ランゲージラボ～羅臼語学研究所～> (ランゲージ=Language研究所=Labo)

「羅臼の語学コミュニティの基礎を作る」ことを目指し、年齢も関係なく、英語教育ができる組織はどんなものか？を探し続けた結果このコミュニティを作ることができました。

まだ規模は小さいですが、英語が好き！というメンバーが集まって、自分の1ヶ月の活動を形にして発表しています。

また、大人のメンバーからすると「私も小学生、中学生の時にそんな風に英語を話せるようになってたかった！」という声もあり、お互いに切磋琢磨できるようなコミュニティが形成され始めています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) jou.yukiko.21@rausu-town.jp
(電話番号) 0153-87-2004

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

—

基本情報



【年齢】
25歳
【出身地】
徳島県石井町
【転出元】
徳島県石井町
【前職】
WEBデザイナー
【活動時期】
R4.3～（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

地域の活性化に繋がることに携わりたいと思い、実際に行ってみて田舎の良さを感じたことがきっかけです。また、大学時代に大変お世話になった方が同活動に携わっていて、同じ思いを持ち地域の活動に関わりたいと考えました。

今後の抱負・任期後の目標

くずまき山村留学ハウスマスターとして、生徒の人間的な成長を促せるように取り組んでいき、生徒が社会に出る前からでも活躍できるような活動をサポートしていきたいと考えており、自らも生徒や地域と関わりながら自分のできることを掘り下げ、葛巻町が盛り上がることにつなげていきたいと思えます。

活動内容

●くずまき山村留学ハウスマスター

くずまき山村留学生の寄宿舎における生活をサポートし、安心して充実した高校生活を送るための成長と自立を促すことで「葛巻らしさ」を体験できる、山村留学の情報発信を目的としています。

業務内容

- ・山村留学生の寄宿舎での生活全般における指導及び個別の相談・支援
- ・施設の管理維持
- ・寄宿舎における行事等の企画運営
- ・山村留学生の地域活動への参加支援（情報提供、地域とのつなぎ、活動のサポート）



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kuzumaki@town.kuzumaki.iwate.jp
（電話番号）0195-66-2111 内線442

基本情報



【年齢】
31歳
【出身地】
神奈川県 横浜市
【転出元】
長崎県 諫早市
【前職】
大学職員
【活動時期】
R4.4～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

前職である大学職員時代に、留学生が半数以上を占める大学院の事務業務を担当しました。さまざまなバックグラウンドを持つ学生や教員と触れ合ううちに、自分の経験を活かしながら教育に携わることにはできないか考えるようになり、漠然と起業を意識するようになりました。そんなときに、自身のキャリアを活かして起業を目指す岩手町の地域おこし協力隊「しごとクリエイター」の制度を知り、地方をフィールドにして起業を目指してみたいと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

岩手町を「誰もがずっと学び続けられるまち」にすべく、生涯学習を推進していきたいと考えています。特にSDGsの考え方について、世代を超えた学習機会をつくってあげたいと思っています。
また、任期後は地域密着型の学習塾を起業し、単に学力向上だけでなく、勉強することの意味や、生涯にわたって役立つ勉強法などを広めていきたいです。

活動内容

●町外小学生を対象とした岩手町学習ツアーの実施

隣町の戸町で運営されている公営塾に協力を仰ぎ、戸町内小学校に通う小学生に岩手町を知ってもらうイベントを企画、運営しました。当日は美術館ツアー、岩手町在住彫刻家の講演、それぞれのSDGsの取り組みについての授業（小田が担当）を実施し、両町をつなぐ機会を創出することができました。



●語学講座（韓国語）の主催

町内の公民館を会場として、語学講座を開催。昨今の韓流ドラマやK-POPなどのブームを受け、ニーズはあるものの地方では学習機会の少ない韓国語に焦点を当て、文化も関連して紹介しました。連続3回で実施した講座には10名以上の町民が参加し好評を博し、講座の継続実施が決まっています。



●地域環境美化&交流イベントの主催

町役場が主催するイベント「世界一楽しいきかっけづくり」に連動し、町民有志とゴミ拾い+ウォーキング+おしゃべり交流会を行う「はてなウォーキング」の実行委員会を立ち上げ、委員長に就任。幅広い年代の人に参加していただき、交流の起点になることができました。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Twitter) <https://twitter.com/odakatsunori>

基本情報



【年齢】
23歳
【出身地】
岩手県 九戸村
【転出元】
宮城県 柴田町
【前職】
保育士
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

高校を卒業後、宮城県の専門学校へ進学し、そのまま保育士の仕事を始めました。2年ほど経ったときに、現場の仕事ではなく何か企画の仕事ができないかなとぼんやり考えていたときに、実家の両親からちょうどいい求人があるよと連絡がきたのが、この協力隊の募集でした。廃校の危機である母校の魅力化がミッションで、今やりたいことにぴったりだと思い、すぐに応募し、無事採用いただき今に至ります。

今後の抱負・任期後の目標

努力が実を結んだのか、時の運かはわかりませんが高校への入学者が増加したので、この調子で廃校の危機の学校ではなく、みんなが入りたいと思えるような学校になるよう全力でサポートしていきます。

活動内容

● 県外留学生の募集

村内の子供の数は減少しているため、県外からの入学者を積極的に募集しています。遠いところへ入学するのは不安だと思うので、定期的に学校説明会や見学を受け付けています。



● 村おこし会社

高校の授業の中の「総合的探究の時間」を利用して、疑似的な会社を設立し、商品を企画・開発・販売しています。実際にイオン等で販売し、商売の勉強のサポートをしています。



● 郷土芸能・江刺家神楽の伝承

高校時代、郷土芸能委員会の会長だった経験を活かし、江刺家神楽の指導を行っています。令和4年度の高文祭では見事全国大会への切符を手に入れました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kunohekyouryokutai6@gmail.com
(電話番号) 0195-42-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
宮城県 仙台市
【転出元】
宮城県 仙台市
【前 職】
大学生
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

公的な教育機関で、社会教育に関わる仕事がしたい。
そして、岩手県の県北に住みたい。という思いから一戸町で地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後は一戸町地域おこし協力隊として、「教育」関連の事業で活動した経験を生かして、中学校教諭として働く予定です。

今後は約1年半の任期の中で教育関連の業務のみに留まらず、より積極的に様々な分野での、地域活動やセミナーに参加し、地域の活性化、そして自分の成長に繋げていきたいと思っています。

活動内容

●一戸町公営塾の運営

「自学自習」をテーマに町内の小学3～6年生を対象とした塾の運営をしている。町内5教室で各教室週2回の授業を行っており、計69名の塾生が在籍している。(R4.10.20時点)
また、今年度は通常授業の他に、料理教室、芸術をテーマとした体験学習、夏期講習、冬期講習、各種検定の受験運営などの活動も行っている。



●土曜学習会の運営

8月末から3月初旬にかけて、毎週土曜日の午前中に高校受験対策講座を運営している。町内2教室で計35名の塾生が在籍している。(R4.10.20時点)
講師は教員経験のある方や塾での指導経験のある方、大学生と一戸町公営塾のスタッフで構成されており、主に英語と数学を指導している。



●「総合的な探究の時間」の授業での学習サポート

一戸高校の「総合的な探究の時間」の授業で各グループの学習をサポートしている。
今年度は町内の蔵を紹介する蔵マップ、町の劇場でのライブ企画、地域の「食」を販売、町のお年寄りとの交流イベントの企画などをテーマとし、町の課題を主体的・協働的に解決する中で自己と地域社会を見つめ直すことを目的として学習している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) ichinohe.ns@gmail.com (電話番号) 080-7027-0863

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

↓一戸町公営塾Facebookページ↓

<https://www.facebook.com/ichinohekoueizyuku>



基本情報



【年 齢】
48歳
【出身地】
埼玉県戸田市
【転出元】
宮城県東松島市
【前 職】
技術補佐員
【活動時期】
R2.4～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

前職が任期満了することに伴い、職を探していたところ地域おこし協力隊（鳴子こけし工人）を知りました。こけしに関してはこれまで詳しくありませんでしたが、子供のころから物作りが好きで、父が石英ガラス加工職人であったこともあり、職人に尊敬と憧れがありました。そこでこけし工人に関して改めて調べてみて、一生の手仕事であるこのこけし工人に興味とやり甲斐を持ち応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今はしっかりと技術を習得するために一所懸命修業に励みたいです。それに伴って鳴子こけしの知名度向上等に貢献できればと思います。そして退任後は伝統鳴子こけしを継承し、見た人が笑顔になるようなこけしを作り続けたいです。また日本古来からの伝統こけしを広く紹介し、より知名度の向上と販路拡大に貢献したいです。そして私もいつか師匠のように伝え継ぎたいです。

活動内容

●鳴子こけし作りの技術習得

3寸から6寸までの絵を付けた鳴子こけしの制作を行い、徐々にこけしのサイズを大きくしています。



●こけし作りの道具や材料作りの習得

こけしを作るために原木から準備を行います。木工業者から届いたミズキの木の皮を剥くことから始まり木工旋盤で木地を作ります。



●販路拡大支援

えじこ型の新しいこけしを作成し、様々な層の方のニーズへのリーチを展開しています。相乗効果で伝統的な鳴子こけしへの注目も高めることができます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

かおりこけし代表 田邊 香

(メールアドレス) kaorikokeshi@gmail.com (電話番号) 090-6685-9799

※作業中は電話に出られないことが多いので、E-mailまたはショートメールをご利用いただけますとありがたいです。

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

(Instagram) <https://www.instagram.com/kaori.kokeshi>

基本情報



【年齢】
33歳
【出身地】
秋田県 横手市
【転出元】
東京都 港区
【前職】
DJ
【活動時期】
R4.5～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

DJとして20代前半から全国、世界を周り活動してきました。パンデミックの最中、水への感謝を表す大自然での音楽体験を作りたいと思い、仙北市の田沢湖へロケハンをしに行き、仙北市の大自然や街の風潮に感動したのがきっかけです。ただの音楽イベントではなくそれを超える体験を創造する為に移住を考えました。また、仙北市の地域の方々のために自分ができることがあればと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

- ・わらび座との連携で伝統音楽のSample Packを作成し、世界へ日本の伝統音楽を発信する。
- ・地域の伝統芸能をPR&継承する。
- ・DJの交友関係や経験値を活かし、地域の歴史、大自然、風潮を活かした音楽体験、文化交流をイベントとして開催。
- ・空き家を活用し、世界中のアーティストが東北の自然からインスピレーションを受ける音楽制作合宿の実施。
- ・農業体験、若年層と熟年層の交流、知恵の継承。

活動内容

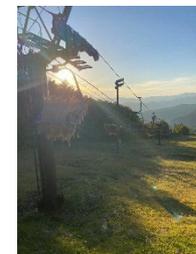
●キャリア教育

仙北市の生保内中学校の総合的な学習の時間で、キャリア教育のための質疑応答やDJ体験の実施、自分自身も実際にDJを披露しました。



●スキー場の活用

田沢湖スキー場の紅葉リフトの期間に、お米をリフトにはさがけしました。稲刈りを手刈りで行い、はさがけの行程を農業体験、若年層と熟年層の交流、また地域の産物や施設のPRの誘発を目指しました。



●SNS発信

SNS発信を活用し、自分のファンや交友関係のあるアーティストへ地域の見どころをPRしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kybunka@city.semboku.akita.jp (文化財課)
(職場) 0187-43-3384 (文化財課)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
仙北市地域おこし協力隊フェイスブック
<https://www.facebook.com/sembokurashi/>
個人SNS <https://www.instagram.com/djshintaro/>

基本情報



【年 齢】
25歳
【出身地】
三重県
【転出元】
神奈川県
【前 職】
学生(大学院在籍中)
【活動時期】
R2.4~
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

学生時代に歴史学を専攻し、庶民生活や日本民家について学んでいました。また、博物館ボランティアなどの活動を通して、博物館や文化財と地域の関わりについて関心を持っていました。

この経歴を活かして、文化財を通じた町づくりや地方での歴史学研究に関わる進路を考えていた際、文化財建造物に関する地域おこし協力隊の募集を見つけて応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

起業など具体的な内容は未定だが、文化財関係業種に就職を検討中。地域の文化財などについて注目すると共に、より広域に関わることを目指しつつ中山町とは調査フィールドとしての関係継続を模索中。

活動内容

●旧柏倉家住宅等の維持管理

町内の旧柏倉家住宅は令和元年に国指定重要文化財に指定され、翌年より一般公開が行なわれている。茅葺き屋根の主屋、四棟の土蔵をはじめ、小屋などの付属屋が残されている。これら大規模な建物の清掃や点検、広大な敷地周辺や分家の旧柏倉惣右衛門家住宅の点検などを行う。



●旧柏倉家住宅に関する調査研究

旧柏倉家住宅は建築学や歴史学などの研究者により調査研究に取り組まれている。一方で、民具や意匠など詳細不明の資料が多く残されていたため、これらの資料について分野を問わず内容の確認調査を行った。

特に現在町が所有する旧柏倉家住宅と旧柏倉惣右衛門家住宅(分家)を対象に家族や建造物、生活慣習について、関係者への聞き取り調査を行った。任期中に成果物を発行予定。

●旧柏倉家住宅の公開スタッフ

一般公開日や視察などで訪れた見学者に対しての開設案内を行なった。着任当初は概要的な内容であったが、前項の調査活動を通して得られた成果を還元し、解説内容の充実・向上に努めた。また、これまでの経験から全国の民家や山形県内の地域的特色を踏まえた解説内容を行っている。

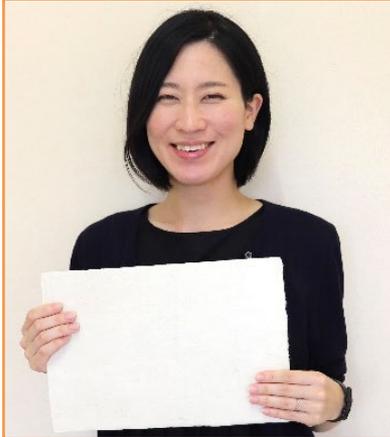


連絡先

【メディア等の取材連絡先】

地域おこし協力隊に関する内容は中山町総合政策課まで。
旧柏倉家住宅の見学公開については中山町教育課まで。

基本情報



【年 齢】
33歳
【出身地】
福島県 本宮市
【転出元】
東京都 杉並区
【前 職】
サインデザイン制作
【活動時期】
R3.8～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

以前に和紙職人としての経験があったこと、海老根和紙工房との繋がりがあったことがきっかけです。

ものづくりが好きで、和紙に携わっていたことや自身の経験を地元の活性化に活かせればと思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

和紙の持続的な普及と、伝統工芸や伝統芸能の魅力を効果的に発信していきたいです。

伝統を残しつつ、現代の生活に合った商品などを作りたいと考えています。

任期後は、和紙の継承に携わりつつ、関係する事業(例えば印刷やデザイン、地域活性化の仲介など)を目標にしていきたいと思っています。

活動内容

●地域の伝統文化の継承

和紙職人の経験を活かし、海老根和紙やデコ屋敷の張子人形など地域の伝統文化の継承に向け、担い手団体の活動に加わり一緒に活動しています。



●「伝統文化×○○」を生み出す繋ぎ手として

地元の大学や企業、あるいは伝統文化同士など地域の資源や活力を繋いで、化学反応を起こす新たな機会と場を創出しています。



●新たな製品の開発

郡山市の伝統文化をたくさんの人に知ってもらうために、地域にある資源を活用したお土産品や旅行商品などの開発に取り組んでいます。

R3年度は、郡山の美味しい果物や野菜を張子でPRしたいと思い、海老根和紙を使用したフルーツ張子を製作・販売しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) gakuto@city.koriyama.lg.jp (電話番号) 024-924-3711

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

facebook <https://www.facebook.com/koriyamachiikiokoshi>

Instagram @koriyama_chiikiokoshi

YouTubeチャンネル 「郡山市地域おこし協力隊」

基本情報



【年 齢】
38歳
【出身地】
茨城県北茨城市
【転出元】
東京都調布市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R3.4~
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

生まれ育った茨城県で、今まで培った建築の知識・技術を生かしながら地域貢献したいとの思いと、建物を建てる最前線で働きたいとの思いから稲敷市の地域おこし協力隊(建築大工育成支援事業)に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

木造住宅の設計、大工作業の知識・技術を習得して工務店を引き継ぎ、お客様に寄り添いながら設計と工事のどちらにも重きを置いて、一貫した仕事をするのでいい家を提供できる工務店にすること。

活動内容

●大工仕事

協力隊となってからの約1年半で平屋や2階建ての住宅・事務所・車庫の新築工事やリフォーム工事に携わった。これらの工事を通して木造の建物を建てる各工程の基本的な作業手順や使う道具・材料の知識を身につけた。



●設計

基本的な大工仕事が身につけてきたこともあり、住宅設計にも携わった。設計業務の始まりは施主との打ち合わせから始まり、要望を聞いて家族構成や敷地の条件、予算等を考慮しながら間取りのプランを考え、図面や三次元パースを作成し、再度施主と打ち合わせを繰り返しながら最終的な住宅の仕様を決めた。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) jinkou@city.inashiki.lg.jp
(電話番号) 029-892-2000

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.facebook.com/inashiki.chiikiokoshi>

基本情報



【年 齢】
40歳
【出身地】
モンゴル国
ウランバートル市
【転出元】
千葉県
【前 職】
会社員
【活動時期】
R2.11～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

最初は2019年8月に行われた2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプでモンゴル国重量挙げ選手達の通訳で初めて行方市に来ました。その後ネットで地域おこし協力隊の募集を知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

- 1.2022年3月末まで新型コロナウイルスの影響で国内と国際の事業が厳しいなか行方市とモンゴルの交流事業を実施して来ました。
- 2.引き続きモンゴルと日本の架け橋になりながら文化交流、物的交流、人的交流を行います。
- 3.地域おこし協力隊を卒業後は会社を設立したい

活動内容

●モンゴル国文化の紹介

市内小学校・放課後児童クラブでモンゴル語教室を実施（モンゴル語、文化、伝統的なゲーム、音楽）、市内の小中学校の給食にモンゴル料理のメニューを提供、モンゴル国の文化や近年の交流の様子を展示する。



●モンゴル国との交流

2021年4月モンゴルへ柔道着を贈るキャンペーン実施（900着）贈呈式は渋谷の駐日モンゴル大使館に行われた（出席：茨城県モンゴル国ホストタウン桜川市、城里町、行方市）同じく4月にバッチジャルガル駐日モンゴル大使が行方市訪問時にオリンピック聖火リレーのトーチをモンゴルゲルの中に展示する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) seisaku02@city.namegata.lg.jp
(電話番号) 0299-72-0811
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100043226672166>

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
宮城県小林市
【転出元】
東京都台東区
【前 職】
第74回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部 スポーツ専門員
【活動時期】
R2.4～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

行方市が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関し、モンゴル国ウエイトリフティングナショナルチームの事前キャンプを受け入れた。当時、競技選手として同キャンプに関わり、今後も同市においてウエイトリフティング競技を推進していくことから、その一助になりたいと応募した。

今後の抱負・任期後の目標

行方市において、大人から子供まで様々な世代がウエイトリフティングに親しめる環境を作っていきたい。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、スポーツの楽しさを地域の人にもっと知ってもらえるように活動していきたい。

さらに、知られていない行方市の魅力を県内外に広く伝えていきたい。

活動内容

●ウエイトリフティングの普及

ウエイトリフティングモンゴル選手の事前合宿をきっかけに、行方市でもウエイトリフティングを普及を目指す。オリンピックが延期になり、事前合宿は実施されなかったが、市内の小中学生等を対象にウエイトリフティング教室を週2回開催している。



●サイクリング情報の発信

つくば霞ヶ浦りんりんロードでのサイクリング番組の企画や撮影等に従事し、サイクリングを活用した健康増進と行方市のイベントや魅力を伝える。なめがたエリアテレビで生放送番組のスタッフのほか、なめテレオンデマンドにもアップロードし、情報を発信している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) seisaku03@city.namegata.lg.jp

(電話番号) 0299-72-0811 (職場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

<https://www.facebook.com/nameokoshi/>

基本情報



【年齢】
35歳
【出身地】
東京都 板橋区
【転出元】
東京都 板橋区
【前職】
カメラマン、庭師、ギター製造
【活動時期】
R1.9～

協力隊に応募したきっかけ

手に職をつけて一生の生業を見つけたいと思いながら、右往左往していたところ協力隊制度と遭遇し、興味を持った。ものづくり、木工で収入に結びつきそうで、クリエイティブな募集を見つけたので、応募させていただくことと相成った。もともと東京を上手く使いこなせていなかったため、地方都市の住環境が合っている気がしていたというのも、理由の一つである。

今後の抱負・任期後の目標

周りの方々のおかげで、ある程度のこけし製作に関する技術と知識を身につけることができた。今後は「シンプルな木の人形」の魅力を伝える宣教師的な役割を為し、これまでにターゲットにされていない趣味嗜好の人たちに向けたこけしも作るとともに、他のカルチャーとの融合を図る試みもしていきたい。要約すると、精進して自身のこけしをもっと売りたい。

活動内容

●創作こけしの技術習得

こけし製作に使用する機械や道具の扱いの習得。木工ろくろは使用する刃物を作るところからはじまり、習得に時間を要する。海外式の木工ろくろであるウッドターニング技術も取り入れ、日本のろくろでは難しい加工も行えるようになった。また、仏像彫刻の技術も学び、こけしの製作に落とし込もうと鍛錬中である。



●こけしコンクールへの出品

こけし製作者として、また協力隊としての発表の場でもある、コンクールへの出品も重要な活動である。群馬の近代こけしコンクールでは関東経済産業局長賞や群馬県知事賞など、割と聞こえがいい感じの賞を受賞させていただいた。全日本こけしコンクールでもギリギリの入賞を果たした。コンクール作品は予想の斜め上を狙いがちである。



●オリジナルこけしの販売

任期後の生計を立てるために最も重要な活動である。クラフトフェアに参加したり、ふるさと納税の返礼品に使っていただいたり、県施設に置いてもらったり、地元企業のクラウドファンディングのお返しに使っていただいたりと、こけし作家として知名度を上げるために奔走する。最近の自信作イエスちゃんガチャは好評だと思いたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) yuya.ohno.photograph@gmail.com
(電話番号) 0279-22-2596 (渋川市役所商工振興課)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram (伊香保こけし創作室)
https://www.instagram.com/shibukawa_kokeshi/
ホームページ <https://www.ikaho-kokeshi.com/>

基本情報



【年 齢】
23歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
兵庫県姫路市
【前 職】
学生
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

和紙に興味があり、大学でも和紙について学んできました。大学の先輩が東秩父村和紙の里で働いていたこともあり、ホームページで協力隊の募集を見つけて応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

和紙の良さをより多くの方に知ってもらいたいと考えています。そのために、まずは一人前の職人になれるよう頑張ります。

活動内容

●紙漉き技術の継承・和紙文化の振興

紙漉き技術を継承するため、紙漉きに至るまでの基本的な工程を改めて一から学んでいます。
和紙を作る仕事に就くことができ、やりがいを感じています。



工房全景



工房風景



圧縮



紙漉き風景

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
東秩父村和紙の里
TEL：0493-82-1468

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
神奈川県 横浜市
【転出元】
神奈川県 横浜市
【前 職】
人材会社（法人営業）
【活動時期】
R2.6～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

隊員応募の前から、長期休みなどを利用して氷見に滞在する機会があり、自然や氷見を盛り上げようと活動されている方々と交流を深めながら、いつか氷見に移住し地域の力になりたいと考えていました。

その折、地域おこし協力隊として「教育魅力化コーディネーター」を募集していることを知り、自身が学んだ高校生向けのキャリア教育実践や地域の方と生徒をつなげるファシリテータースキルを活かして、「主体性を創る教育」のお手伝いができるのではと思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

高校での地域協働学習において、市内で活躍されている方と生徒をつなげることは出来ましたが、新型コロナウイルスの影響でフィールドワークによる実際の体験活動が制限されていたため、積極的に現地に飛び出す取り組みを強化したいと考えています。

また、退任後に向けてコミュニティスペースの機能を拡充し、「カフェ」「個別指導塾」「イベント」を柱に事業展開するとともに、高校生が地域を巻き込んだプロジェクトの実現を支援して、子ども達の氷見への愛着醸成につなげたい。

活動内容

●氷見高校における地域協働学習の推進

地域と高校が密接な関係を築き、「地域を5感で感じる」をテーマとした氷見高校1学年の授業「未来講座HIMI学」において、教員の業務負担が大きく、以前は地域課題を調べるだけの学習であったが、隊員が積極的に市内の地域や事業者、まちづくり協議会等との協力体制を構築することで学習の場を広げ、高校生が実際に地域で活躍する大人の話の聞いたり、フィールドワークをする中で、氷見市の課題を見つけ、解決に向けて探究を行う授業へと改革した。



●高校生のためのコミュニティ・スペース「ひみりべ。」の創設

学校の授業よりもフランクに高校生と地域・社会・世界のあらゆる人が繋がり、高校生の「やってみたい」ことが実践できる場が必要と考え、市内の社会人3名および富山大学の学生3名と一緒にコミュニティ・スペース「ひみりべ。」の創設に取り組み、駅と氷見高校の導線上の物件を所有者の行為により無料で賃貸し、DIYによるリノベーションを行っている。また、令和4年9月に隊員を代表とした一般社団法人D-liveを設立。マルシェや地域を考えるワークショップを開催している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) nobuaki.arai@city.himi.lg.jp
(電話番号) 0766-74-8013

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(氷見市地域おこし協力隊) <https://www.facebook.com/himiokoshi>



基本情報



【年齢】
30歳
【出身地】
大阪府八尾市
【転出元】
大阪府八尾市
【前職】
営業職
【活動時期】
R3.4～

協力隊に応募したきっかけ

知り合いから求人情報の紹介をいただきました。

今後の抱負・任期後の目標

これまで取り組んできたことに加え、年齢や趣味嗜好にかかわらず、より幅広い子どもたちがコンピュータクラブハウスに関わる仕組みづくりをしていきたいと考えています。

個人的には現在行なっている飲食業を発展させ、地域の食材や農業に他の地域の人が興味を持ってもらえるような事業にしていきたいと思っています。

活動内容

●コンピュータクラブハウス加賀の運営・広報

全国で初めて加賀市に誕生したテクノロジー教育施設・コンピュータクラブハウス加賀(以下、CCH)の運営及び、子どもたちの活動の発展に寄与することがミッションです。施設運営をしながら子どもたちと関わり、その様子をSNSやHPで外部に発信しています。



●CCHでのユースカウンシル制度立ち上げ

自治体で行われている若者議会のCCH版立ち上げを企画・運営しています。「私たちの場所は、私たちでつくる」をコンセプトにキャッチフレーズを考え、高校時代CCHに通っていた大学生と共に運営を作っています。



●CCHガールズデーの開催

CCHには利用者の90%以上が男子という現状があります。女子率30%以上を目標に、ガールズデーを発足し、9月からは月1回ガールズデーを開催できる体制になりました。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(コンピュータクラブハウスホームページ) <https://computer-clubhouse.jp/>

(Instagram) https://www.instagram.com/cch_kaga/

基本情報



【年 齢】
30歳
【出身地】
石川県 小松市
【転出元】
東京都 大田区
【前 職】
株式会社FAプロダクツ
【活動時期】
R4.8～R7.7
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

これまで製造業の分野でキャリアを歩んできましたが、昔から子どもが大好きで、いつか何かしら子どもや教育に関わる仕事をしたという想いをずっと抱いていました。

また、自分の地元で何か社会貢献をしたいという想いもあり、子どもや教育の場でこれまでの自分の経験が活かせないかと考えていました。

今般、様々な教育に関する書籍や記事を見たり、教員から話を聞く中で、教育課題が山積みになっていることを知り、地元でUターンをして支援団体を立ち上げるなどの検討をしていましたが、ロードマップを描き切れずにいたところ、今回の求人を見つけ、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今回の高校魅力化プロジェクトを通して、県内でのモデルとなるような事例を創出し、課題が山積みとなっている現状を打破する希望となるような取り組みをしたいと考えています。また、今後将来的には自分自身で新たに団体を立ち上げるなどの活動も考慮に入れながら、継続的かつ他地域への展開性のある仕組みづくりに努めたいと思います。

活動内容

●大聖寺駅前フリースペースの運営

平日の放課後（概ね16:30～20:30）に中高生向けのフリースペースを運営しています。家庭と学校以外の居場所（サードプレイス）としての機能はもちろん、様々なテーマのイベントや、地域で探究活動を行うプログラムなどを通して、異なる高校や学年の生徒同士の交流の場として機能しています。



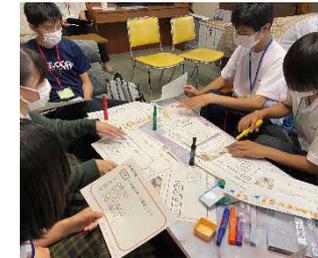
●市内高校の探究授業支援

市内高校の総合的な探究の時間（探究授業）に参加し、高校生のプロジェクトをサポートしています。探究授業の中でのプロジェクトに対するアドバイスやフォローアップの他、地域の方々と学校とを繋げるお手伝いなどを行っています。



●学校外での探究活動プログラム

高校生が放課後に探究活動が出来るプログラムを運営しています。フリースペースに中学生を呼び込むためのイベント企画や、市内の施設を紹介する動画を制作するなど、高校生たちによる様々なプロジェクトが誕生し、高校生の愛郷心と大学受験等に活かす活動に展開しています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(facebookページ) <https://www.facebook.com/daishoujifreespace/>

基本情報



【年 齢】
42歳
【出身地】
神奈川県 横須賀市
【転出元】
宮城県 仙台市
【前 職】
株式会社マクロミル
【活動時期】
R4.2～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

令和4年度から全国の高校で実施されている「総合的な探究の時間」に、職務として直接的に関与できる場を探していた中、「探究特進科」の開設を予定していた勝山高等学校に出会いました。そもそも、この分野への関心の源としては、出身大学（東京都市大学）のゼミのサポートとして学生らに伴走する経験や前職において部門内のメンバーの育成、大学への出張講座、インターンシップの受け入れなどにも携わる経験から、より広く学びを届けることができる場を求めて辿り着きました。

今後の抱負・任期後の目標

教員以外の経験値を持った人物が、授業の現場に一定量関与することの価値を明らかにし、同様の活動ポジションを日本中に広めていきたいと考えています。これは学生への好影響はもちろんのこと、教職員に対しても外部の風と混ざり合うことで、社会の変化に対応した学校づくりの一環として寄与するものとも考えます。それにはまず、個人として独立した事業として成立させるため、多数の同じ思想を持った仲間を集め、探究副業人材として世の中の学校とのタッチポイントをつくるのが課題と認識しています。

活動内容

●総合的な探究の時間の授業計画・実施

福井県立勝山高等学校における探究を推進するため、授業計画・実施・生徒への伴走指導などを先生と共に進めています。主として深く関与しているのが「探究特進科」で、企業時代の社員研修等で行っていた内容を再解釈したプログラムも取り入れているほか、前職や大学との関わりの中で培った、課題解決に向けた思考を整理する対話やプレゼン技術、文章表現などを重視したアプローチをしています。探究を通し、思考・判断・表現の力の育成と、非認知能力として、越境体験、壁を乗り越えるマインド、自己肯定感などを醸成することで、楽しく生きる知恵をつけていってほしいとの想いです。



●地域事業者によるキャリア&探究合同セッション

地域で事業を営む21の事業者等の協力を得て「職業紹介：3割」「このまちで働くに至る個人のストーリー：7割」の配分で、先輩から学生へのメッセージを語る会を“合同説明会形式”で実施。協力いただいた企業からは「自身にとっても過去を振り返る有意義な時間」「高校生と接点をもてる貴重な機会」との感想。学生からは「人との関わり方や自らチャレンジをしていくこと」「やってみたいと思う仕事を見つけたことができた」という感想が得られました。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(くらげ先生の探究学習note) <https://note.com/kuragesensei>

基本情報



【年齢】
24歳
【出身地】
山梨県韮崎市
【転出元】
東京都文京区
【前職】
タバコ会社
【活動時期】
R3.8～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

将来教員になることを目指していたため、青少年と関わる仕事がしたいと思い「Miacis」で働いています。Miacisは私が高校3年生の時に利用者 & 立ち上げメンバーとして通っていた「青少年育成プラザ」で、今度は利用者側ではなく、スタッフとして働きたいと強く思ったため協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

青少年育成プログラムや、学術に基づいた青少年育成アプローチを日本に普及させるため、日々奮闘しています。具体的にはPositive Youth Development (PYD) アプローチというアメリカから生まれた青少年の捉え方や接し方に焦点を置き、これに基づいたプログラムを作るため努力しています。

活動内容

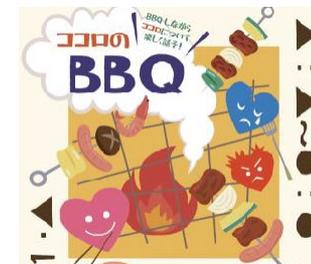
●キャリア教育プログラム

年間200人以上の生徒が参加し、地元の中学生がキャリア意識を高めるためのワークショップや、生徒の職場体験を受け入れてくれる企業の開拓と関係性の維持を行っています。地元企業や学校との協力を通じて、韮崎の青少年を大切に、理解するコミュニティづくりをしています。



●PYDプログラム

アメリカや世界各国の青少年教育に使われているPYDアプローチを活用したプログラムの開発、計画、実施、評価を行っています。直近では参加者の自制心、マインドフルネス、メンタルヘルスに関する理解を向上することを目的とした「ココロのBBQ」の実施を企画しています。



●スタッフ研修

PYDに基づいた組織形成 & 施設運営を行うために、MiacisのスタッフにPYDや利用者との関係性についての研修を実施しています。これらの知識やノウハウはアメリカの青少年育成研究団体のワークショップに参加をしたり、学術であるものを翻訳し、スタッフに分かりやすいように伝える努力をしています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://note.com/kenji_9/n/n89b9286c43fb

基本情報



【年齢】
30歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都中野区
【前職】
【活動時期】
R4.4~

協力隊に応募したきっかけ

もっと住みやすい街はないかと探しているときに、地域おこし協力隊という制度を知り、NPO法人河原部社を見つけました。ミアキスという若者の居場所を作って運営しているところや、同年代の人たちがおもしろい活動をしているところに惹かれ、ここで働きたいと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

もっと中高生にミアキスについて知ってもらったり、ミアキスを活用してもらうための活動や、中高生がやりたいことを実現するための伴奏支援などを中心に今後も活動していきたいです。
任期後はまだ未定です。

活動内容

●職場体験プログラム

韮崎市内にある2つの中学校と共同で、河原部社が生徒を受け入れてくれる企業の開拓や、中学校での職場体験に関する授業、企業と中学生を組み合わせるマッチングなどを行っています。
地元企業や学校との協力を通じて、韮崎の青少年を大切にし、理解するコミュニティづくりをしています。



●まちづくりカフェ

韮崎市の総合計画に中高生の意見を反映させようという取り組みとして、まちづくりカフェを行いました。
中高生に集まってもらい、中高生の視点からもっといい街にしていくのに必要なことや困っていることなど、様々な意見が出ました。若者視点のアイデアや発想は、人口対策などにも役に立つと思います。



●6周年記念イベント

ミアキスの6周年の周年イベントを10/8,9に行いました。たくさんの中高生にミアキスに来て、楽しんでもらえるように、卓球大会やお菓子のつかみ取りなどを企画したり、中学生企画のイベントをしました。
イベントを通して、年齢や性別など関係なく、同年代の繋がりができていくのがミアキスのいいところです。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://note.com/yuka_pink

基本情報



【年 齢】
41歳
【出身地】
京都府福知山市
【転出元】
東京都東久留米市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R2.5～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

チャレンジできる場所を探していた時に、協力隊の制度を知ったこと。大好きな山と川がある場所で暮らしながら、自分の力を試してみたいと思ったから。

今後の抱負・任期後の目標

音楽の力で丹波山ファンの数を増やすことと、丹波山ファンの気持ちをつなぎ止め続ける楽しみを生み出すこと。そういった活動の成功事例を増やして、協力隊活動の多様性や、田舎での暮らし方の多様性を押し広げたい。

活動内容

●たばやまレコード

村内在住の男性と2人でアコースティック・ユニット「双鴨（そうかも）」を結成し、音楽を通した村おこしに取り組んでいる。YouTubeチャンネル「たばやまレコード」を開設し、オリジナルの楽曲や、村の郷土芸能「ささら獅子舞」のお囃子の笛の吹き方などを配信している。



●「丹波っこらぶ」での児童の見守り

小学校の放課後に開かれている「丹波っ子くらぶ」で、児童の遊び相手・相談相手として活動。元特別支援学校の教員としての経験を生かしている。書店や大きな図書館がない丹波山村で、子どもたちにより多くの本に親しんでもらおうと、県立図書館から毎月100～150冊の本を借りて、貸し出している。



●保育所の訪問

月に一度「のっちの日」として、村内の保育所でサッカー教室を開いたり、歌を歌うなどしたりしている。デイサービスでは、利用者と一緒になつかしの曲や童謡などを歌っている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) soumu@vill.tabayama.yamanashi.jp
(電話番号) 0428-88-0211

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(たばやまレコードウェブサイト) <https://tabayama-record.com>

基本情報



【年 齢】
51歳
【出身地】
東京都板橋区
【転出元】
東京都豊島区
【前 職】
地方公務員
【活動時期】
R4.5～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

以前から、東御市在住エッセイストの玉村豊男さんのライフスタイルへの憧れがあり、いつかは写真集の風景にあった東御市で生活したいと考えていました。情報収集する中で、東御市では多くの分野で協力隊員が活躍していることを知り、地元の方々との交流の機会を得やすいのではないかと思います、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

担当業務である「火のアートフェスティバル2022」が終了しましたが、来年は、地元の方々を中心により一層親しみを持っていただき、楽しんでもらえるイベントにしたいと思っています。任期後は、休日に勉強中であるワインブドウ栽培や地元の方々と交流できるような副業で生活していきたいと思いません。

活動内容

●学校陶芸教室

市内15の保育園、幼稚園、小学校、中学校において地元陶芸グループの指導のもと、協力隊員が従事して学校陶芸教室を実施した。子ども達が制作した作品は、火のアートフェスティバル2022において登り窯で焼成した。



●スケッチ大会におけるワークショップ

市が運営する丸山晚霞記念館が例年企画しているスケッチ大会において、東京家政大学監修のもと、協力隊員が羊毛で飾りを制作するワークショップを実施した。



●火のアートフェスティバル2022

10月8、9日の2日間、開催された標記のイベントにおいて、各種催事があるなかでも、協力隊員は、主にワークショップ、陶芸、30周年記念事業の關係の企画に従事し、多くの来場者を得た。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

bunka@city.tomi.nagano.jp (電話番号) 0268-71-0670

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram <https://www.instagram.com/hinoart.festival.o/>
Twitter <https://twitter.com/hinoartfestival>
note <https://tomi-city.note.jp/> (火のアートフェスティバルに係る記事2つ)

基本情報



【年齢】
43歳
【出身地】
群馬県 高崎市
【転出元】
東京都 杉並区
【前職】
日本語講師
(フランス：グルノーブル・アルプ大学)
【活動時期】
R3.10～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

軽井沢は家族や友人と訪れたことがあり、私にとって馴染みの深い場所でした。自然豊かな場所が好きで、都市圏ではないところで何か仕事がないかと探していた時に、求人募集を見つけて応募しました。

高校生の指導・学習サポートは初めての経験になりますが、教材開発の仕事や、外国語学習、日本語講師としての経験を生かして、教育業界でステップアップしたいと思っています。

今後の抱負・任期後の目標

軽井沢町の学習センターでは、私は英語（英検講座）を中心に学習サポートをしているので、担当する生徒が合格するまでサポートしていきたいです。生徒一人一人との距離が近く、目標設定から達成まで丁寧に見ることができるので、たくさんコミュニケーションをとっていきたくと思っています。

任期後も、軽井沢の地でできた繋がりを大事にして、言語教育等を通じて、軽井沢と関わる仕事を続けていきたいです。

活動内容

●英検講座

英検合格にむけて、英検の過去問を使って演習を行っています。過去問でトライアルを行いレベルを見極めたあとに、レベルにあわせて目指す級を設定して、年に3回ある試験の時期にあわせてスケジュールをたてます。筆記、リスニングの強化の他、単語強化に特化した講座も開いています。



●日仏オンライン交流会

学習センターに通う高校生と、前職の大学（フランスのグルノーブル・アルプ大学）の外国語学部の学生をオンラインで繋げて、読書会を行いました。まず、それぞれの地域を紹介したあと、英語と日本語で絵本を読んで感想を話し合いました。今後は、地域に縁のある人物や歴史の本を使って読書交流会を開きたいと考えています。



●朗読駅伝のサポート

地域の図書館（中軽井沢図書館）が主催する「朗読駅伝」に参加する高校生たちのサポートをしています。軽井沢朗読館の館主である朗読家の青木裕子さんが、学習センターに来て生徒たちに直接指導してくださるので、本番にむけての練習会の設定や生徒と連絡等でサポートを行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) karuizawa_gakushucenter_tsukagoshi@g.nagano-c.ed.jp

(電話番号) 職場・0267-31-5195

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://www.facebook.com/karuizawa.gakushucenter>

基本情報



【年 齢】
24歳
【出身地】
長野県飯田市
【転出元】
愛知県弥富市
【前 職】
新卒
【活動時期】
R4.4月～（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

大学時代の経験から、学校とは違った立場の存在が自己肯定感の向上につながるのではと、地域での教育活動に興味をもちました。また、県外に進学した際に、出身地である長野県の良さを感じ、県内で就職したいと思うようになりました。ちょうどお知り合いの方が紹介して下さい、軽井沢にくる事になりました。

今後の抱負・任期後の目標

英検、漢検などの検定試験で一人でも多く合格できるように、学習伴走を頑張っていきたいです。その他にも、多くの価値観に触れ、少しでも生徒自身の可能性を広げて将来を決めることができるようなお手伝いもしていきたいです。

活動内容

● 英検講座

年3回行われる、英語検定能力試験の対策講座を行っています。今年度は、2級と準2級の講座を担当しました。筆記対策として、単語テスト、長文対策、英作文の添削などを行いました。



● 言語化講座

文章を「書く力」を育むことを目標に、言語化講座を行っています。テキストを使って、語彙の習得、文章の書き方を中心に教えています。



● 交流会、マイプロジェクトの伴走

学習指導だけでなく、自分の興味関心をプロジェクトにして活動を行う「マイプロ」の伴走を行っています。また、県外の高校生との交流会を生徒が企画し、当日のサポートも行いました。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram:karuizawa.gakushucenter

基本情報



【年齢】
29歳
【出身地】
神奈川県 藤沢市
【転出元】
神奈川県 藤沢市
【前職】
岩手県住田町
教育コーディネーター
【活動時期】
R4.4～（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

地方や地域が好きなのですが、今後の人生を考えてもう少し地元の近くに住みたいと思っていた時に、元々つながりのあった前協力隊の方にお声がけいただきました。

祖母の地元が近いことや、昔から長野に縁があったことも決め手となりました。

前職でも近い仕事をしていましたが、学校ではなく地域側から高校生と関われることに魅力を感じています。

今後の抱負・任期後の目標

これからも、高校生がわくわくする（＝意欲が生まれる）瞬間を作っていきたいです。

軽井沢で求められていることと、自分にできること（強みや特性）を踏まえて、何が実現できるかを考えていきます。その積み重ねが、任期後のキャリアにつながると思っています。

活動内容

軽井沢町学習センター（公設塾）の運営

軽井沢高校の敷地内にある学習センターで、放課後（16:00～20:00）の学びの場をつくっています。

普段は、学校帰りに立ち寄る高校生に向けて、英国数を中心とした講座や大学受験に向けた対策など様々な取り組みを行なっています。



高校生と社会人をつなぐ

高校生にとって、親や教員以外の大人に出会うことは、視野が広がり、選択肢を増やすきっかけになると思っています。

今年度は、社会福祉士、看護師など計3名と高校生をオンラインでつなぎ、お話をしてもらいました。



軽井沢フィールドワーク企画

埼玉県の高校教諭の知り合いから依頼を受け、埼玉県の高中生と軽井沢の高校生のフィールドワーク企画が決まりました。

当日は、コロナ感染拡大により延期となりましたが、オンラインに切り替えて交流を深めました。（リベンジ予定！）



連絡先

【メディア等の取材連絡先】軽井沢町役場総合政策課軽井沢高校魅力化支援係
（メールアドレス）karuizawa.gakushucenter@gmail.com
（電話番号）0467-31-5195

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



基本情報



【年齢】
59歳
【出身地】
長野県 飯田市
【転出元】
長野県 飯田市
【前職】
飯田市役所 職員
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

地球温暖化防止や自然環境保全の活動をライフワークとする中で、日本の森林にて持続可能な活用をしていくことが急務と認識し、木のおもちゃ(けん玉など)や地域産材の利用(住宅建築・増改築等)を促し普及してきました。

東京おもちゃ美術館にておもちゃ学芸員として活動に関わった際、木曾町に「ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館」が開設すると知り、木曾においても活動したいと思って通っていたところ、美術館の開設など担う地域おこし協力隊の募集があったので応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

2022年11月19日オープン「ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館」が問題なくスタートできること、指定管理者(NPO法人)の運営が順調にいくこと、来館者が増えることが大事で、そのために必要なことをサポートします。

任期後の立場は不透明で、美術館の指定管理者が自分を必要な人材とするか否かにより分かります。必要とされた場合は勤務条件を確認して就業しますが、必要なくなれば、別の仕事に就きながら、おもちゃ学芸員というボランティア活動を継続して美術館を支援していきます。

活動内容

●ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館、開設と企画運営

木育と木曾の伝統文化を体験で伝える木曾おもちゃ美術館。そのボランティアスタッフ「おもちゃ学芸員」の養成講座を昨年から5回開催し計103名が登録になりました。10月9日の出発式にて赤エプロンが授与されいよいよオープンします。四季折々の催事とおもちゃを組み合わせる運営を展開します。



●木育人材の育成・連携に関する業務

おもちゃコンサルタントやけん玉講師として「おもちゃの広場」を開催し、主に子供たちを対象に木育を推進するとともに、地球規模の自然環境保全を普及啓発しています。環境保全と地域経済が好循環になる仕組みも模索しながら、木に関わる人々を増やしていく必要性を啓発しています。



●定住及び交流の促進に関する活動、企画、イベント

自宅を「サードプレイス・ゲストルーム ペチカんず木曾」として令和3年7月から運営しています。青少年の情報交差「店」という位置づけですが、親子連れや一般の方も利用されます。

令和4年10月から「信州こどもカフェ」いわゆる子ども食堂を週1回開催していきます。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(インスタグラム) <https://www.instagram.com/stories/pechikanz.kiso/>
(フェイスブック) <https://www.facebook.com/michinori.ikedo/>

基本情報



【年 齢】
23歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
奈良県奈良市
【前 職】
大学生
【活動時期】
R3.10～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

大学時代に考古学を専攻していたこともあり、歴史や考古学に関わる仕事をしてみたいという思いがありました。そこで日本史の教科書にも載るような歴史的にも有名な場所で博物館を通じた地域おこしをしたいと思い、信濃町に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

来年度7月より野尻湖ナウマンゾウ博物館で特別展を開催する予定です。それに向け、展示解説パネルの作成等の準備を進める予定です。

また、埋蔵文化財調査や展示品の3Dスキャン、展示解説等の博物館業務についても引き続き行っていく予定です。

活動内容

●発掘研修

埋蔵文化財の発掘技術や手法を学ぶため、町内外で行われている、発掘調査に参加しています。



●学習会、ワークショップの運営補助

野尻湖ナウマンゾウ博物館で開催される学習会やワークショップにて、誘導や解説、説明等の運営補助を行っています。



●埋蔵文化財報告書作成

過去に信濃町内にて発掘された遺跡で報告書が未作成のものについて実際の遺物を調べながら、報告書の作成を進めています。



●団体見学者対応

野尻湖ナウマンゾウ博物館に団体で来館された方で展示解説の希望があった場合に、館内の展示解説を行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) naumanzou@town.shinano.lg.jp
(電話番号) 026-258-2090

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

基本情報



【年齢】
36歳
【出身地】
愛知県弥富市
【転出元】
東京都世田谷区
【前職】
広告代理店／教育コンサルタント
【活動時期】
R2.2～
(4年目)

協力隊に応募したきっかけ

前職で教育コンサルタントとして、小中学校でキャリア教育コーディネーターをしていました。教育に携わりたいと思ったきっかけが、自身が高校生の時に高校教育に対し疑問を持ったことでした。なので、以前から高校教育に携わりたいという思いが強く、魅力化コーディネーターの募集を探していたところ、本町の募集を見つけました。教育委員会が募集していたことが、応募の決め手です。

今後の抱負・任期後の目標

現職では、全てにおいて私自身が主体でなくサポート役に徹することができる状態にすることが最終目標でした。徐々にその足がかりはできつつありますが、現時点では達成にはいたらないと感じています。後任の地域おこし協力隊へ引継ぎ、継続していくとともに、できれば業務委託等での継続的な関わりを持って、中長期的に協働を目指したいと考えていますが、現時点は不明です。

活動内容

●生徒募集に関する広報活動

オンラインや東京で行われる学校説明会での学校紹介の実施。Facebook・Instagram・Twitterによる、日々の学校風景等のSNSによる配信。



●「総合的な探究の時間」等の授業コーディネートや授業企画の設計・提案、実施におけるファシリテーション

探究学習に関連する、年間や学期単位での企画設計提案や、授業実施のサポート。それに伴う、外部講師等のコーディネート調整。



●小中学校や大学との連携事業のコーディネート

地域の小中学校と連携した授業や地域活動の企画およびコーディネート。
県内の大学との連携した出前授業などの事業実施の企画及びコーディネート。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) k-igami@as-it-is.co
(電話番号) 0547-58-2555 (川根本町教育委員会)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Facebook→<https://www.facebook.com/kawane.h.official>
Instagram→https://www.instagram.com/kawane.h_official/

基本情報



【年 齢】
24歳
【出身地】
東京都檜原村
【転出元】
東京都あきる野市
【前 職】
大学生
【活動時期】
R3.3～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

大学在学中から高校生の探究活動のサポートや高校生と地域の方との交流の機会を作る活動をしていました。知り合いからこのお仕事を紹介していただき、仕事の内容が自分の興味関心に近かったということと、説明会で伺った丹後の方の暮らしに魅力を感じて応募することに決めました。

今後の抱負・任期後の目標

高校生に少しでも自分の住んでいる地域でたくさんの大人と関わり、視野を広げて卒業をしてほしいと考えています。そこで、現在関わっている総合的な探究の時間を切り口に、生徒が地域のことを知り、たくさんの大人と関わって充実した高校生活を送ることのできるようなサポートをしていきたいと思っています。

活動内容

●『つくろう！ 미래のまち』プロジェクト支援

京丹後市が行う令和4年度「都市拠点等の在り方検討会議」の若者ワークショップに参加する高校生の活動を伴走支援する。

オンラインミーティングや、アイデア出し、フィールドワークのサポートなど、高校生のやりたいことを形にするため活動している。



●探究授業支援

活動地の京都府立清新高等学校において、総合的な探究の時間の中で地域の方の話を高校生が聞ける機会づくりを行い、高校生に京丹後市について色々なことを知ってもらう機会づくりにもつなげている。授業では自らの経験も講演し、高校生が将来の選択肢を広げることににつながる取り組みもしている。



●生徒の伴走

活動地の京都府立清新高等学校の生徒に対して、興味関心に応じたボランティア、地域のイベント等の紹介や活動の際の引率を行う。

生徒が学校の外に出て、地域の多様な大人と出会うことで、自身の将来や生き方について考え、価値観を広げるための活動を行っている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) kikaku@city.kyotango.lg.jp

(電話番号) 0772-69-0120

(職場) 京丹後市役所 市長公室 政策企画課

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
中華人民共和国青海省
(烏蘭県)
【転出元】
京都府京都市
【前 職】
無職
(同年度夏までは大学院生)
【活動時期】
R3.3～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

元々大学のゼミで「農村計画」を学んでおり、「地域おこし協力隊」については馴染がありました。今の地域での活動内容などはゼミ先輩から情報共有をいただき、興味があったため応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

面白い地域のキーパーソンと連携や協働をしていただき、地域の大人が持っている知見で将来性に満ちた高校生たちの「社会性」を育てながら、自主的に課題を発掘していく能力を醸成させていきたい。

活動内容

●学校の授業の伴走支援

活動地となる京都府立丹後緑風高等学校網野学舎の課題研究授業の伴走支援を行っています。

市内の高校生などを支援する施設に学生を連れていくことや、学生が実現したいことに対するアドバイスをを行うなど、生徒に寄り添った活動を行っています。



●授業での講演

高校の授業の中で、様々な地域のことを学べる機会を提供することと国際交流の一環として、出身地の中華人民共和国青海省についての講演を行いました。学生にとって、今まで知らなかった土地のことを、直接住んでいた人から学べる機会となり、学生の将来の選択肢を広げることにつなげています。



●地域人材と高校生のコーディネート

生徒が自発的に考案したプロジェクトや商品開発提案を相応しい地域の人材へマッチングし、実社会へフィールドワークの企画と伴走支援を行っています。地域社会で積極的に活動されている大人たちと出会い、多様な価値観や生き方を体感し、高校生の今後のキャリアデザインに繋がるように試みしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kikaku@city.kyotango.lg.jp
(電話番号) 0772-69-0120
(職場) 京丹後市役所 市長公室 政策企画課

基本情報



【年齢】
23歳
【出身地】
三重県名張市
【転出元】
大阪府池田市
【前職】
学生
【活動時期】
R4.4～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

大学生時代に、福井県越前町でフィールドワークをした際、町おこしに興味を持った。さらに、OGの方が別の場所で地域おこし協力隊をやっておられ、協力隊がどんなものか教えていただいた。教育関連に関心があり、実際に生徒と関わりながらの活動にとっても魅力を感じたため、能勢町の地域おこし協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、今取り組んでいる制度の利用生徒を増やし、能勢分校の生徒増加につなげたい。任期後の目標として、教育現場で活動していることを活かした業務を行いたい。

活動内容

●里山留学生、里山ファミリー増加

大阪府内在住の生徒を対象とした下宿制度で、利用生徒（里山留学生）や受け入れ家庭（里山ファミリー）確保のため、様々な場所で広報活動を行う。制度を利用する生徒を増加することで、能勢分校の魅力向上に繋げる。



●里山留学プログラム

能勢町の歴史、文化、産業を学ぶ体験型学習の支援を行う。里山留学生、自宅から通う生徒数名でチームを組み、月に一度程度で活動を行っている。



●海外留学生交流支援

能勢分校では継続的な海外留学生の受け入れ、SGH認定校だったこともあり、国際交流が盛んにおこなわれている。海外留学生と里山留学生、能勢分校生と交際交流を行うことで、グローバルな学びを行う。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) seisaku@town.nose.lg.jp (電話番号) 072-734-3036

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) <https://www.instagram.com/nose.chiikiokoshi/>
@nose.chiikiokoshi
(Facebook) [能勢町 地域おこし協力隊 \(facebook.com\)](https://www.facebook.com/nose.chiikiokoshi/) 能勢町 地域おこし協力隊

基本情報



【年齢】
59歳
【出身地】
三重県名張市
【転出元】
三重県名張市
【前職】
書籍、月刊誌などの編集・デザイン
【活動時期】
R4.4~
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

山林の暮らしの歴史・文化に興味があり、「歴史と文化を生かした活動」という募集要項が、自分のスキルを活かせると思ったため。新潟県十日町市で限界集落の話を取り出し、書籍にした経験を生かし、上北山村の歴史や文化を記録できると考えた。

今後の抱負・任期後の目標

村の歴史家の方や教育委員会と相談し、村民が村の歴史を再度認識して誇りを持てるような冊子を編集します。また、村で昔から活用されてきた花木や植物を見直し、山の価値を見出し、特産品を開発します。

任期終了後は、観光案内、特産品や食品の販売、体験プランの企画、情報発信など、自分のスキルを生かした複数の仕事で収入を得られるモデルを作りたい。

活動内容

●村の歴史・暮らしの冊子制作

学校の社会科副読本制作のサポートを行うとともに、村民向けに歴史・文化・暮らしについてまとめた冊子を制作予定。村の歴史家、教育委員会と企画進行中。

●過去の16ミリ、8ミリビデオの放送

かけ橋プロジェクトの一環として教育委員会に保管されていた昭和時代の16ミリ、8ミリビデオを編集し、ケーブルテレビで毎月放送している。また、ケーブルテレビで放送した映像を歴史家の解説とともにスクリーンで放映するイベントを行う予定。

かけ橋プロジェクト・・・村史や村の書籍の内容を紹介し、広い世代に村のことを知ってもらい、過去と現在のかけ橋とする

●特産品の開発、官学連携プロジェクト

農産物などが少ない村なので、村の特産品が少ないが、トチノミやお茶、山野草、クロモジやヒノキなどを使った食品や日用品の開発を村のNPO団体と企画している。また、官学連携の森林プロジェクトに参加し、森林を生かした活動、昔の暮らしを体験する体験プランなどを企画。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(上北山村地域おこし協力隊&支援員Facebook)



基本情報



【年 齢】
23歳
【出身地】
東京都町田市
【転出元】
東京都町田市
【前 職】
大学生
【活動時期】
R4.4～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

地域での暮らしを体感しながら、地方の農業を盛り上げていきたいと思ったのがきっかけで、協力隊に応募しました。小学校の頃に、祖父の畑で一から野菜を育ててみたことがきっかけで、農業にハマり将来は農業に関することで起業したいという夢を持つようになりました。大学も農学部に進学し、農業技術や農業経営について実践を通して学ぶため全国各地30箇所を越える農家で実習などを行わせていただきました。その中で、“農業を通じたまちづくり”に興味を持ち、実践していきたいと考えました。

今後の抱負・任期後の目標

アグリ起業部の活動を通して、農業の楽しさや農業の可能性を地元の中学生や県内外の大学生に伝えていき、将来何らかの形で農業に関わる人々を増やしていきたいです。また、中学生や大学生がアグリ起業部の活動を通じて、大山町でやりたいことを実現できるよう、精一杯サポートしていきたいと思います。任期後は、農業を通じて、人々が成長したり楽しんだりできる場をつくっていきたく考えているので、その目標に向けて、大山町にて実践を繰り返し準備をしていきたいです。

活動内容

●農業経営実践プログラム「アグリ起業部」

地元の中学生が農作物の生産から販売を行うプログラム「アグリ起業部」の企画・運営をしています。「アグリ起業部」では、中学生が、農業経営について、地元の農家や県内外の大学生と共に学び、実践をおこなっています。具体的には、町内での野菜栽培、野菜を使った料理の開発、販売のためのロゴづくり、チラシづくり、POP作成などをおこなっています。販売は、町内の道の駅で行う予定で、町内外から来るお客さんと交流をしながら販売をします。最終的には、どれくらい売り上げたかなどの決算までを行い、ビジネスについても考えていきます。



●農業実習コーディネート

農業に関心のある大学生を対象に、町内や町内周辺の農家での実習のコーディネートをを行っています。なし農家、なしの選果場、野菜農家、ブドウ農家での実習を実施したり、農家の話を聞く場を設けました。農業を仕事とすること、地域農業の魅力などについて知り、農業を職業とするイメージを掴んでもらうことを目的に活動をおこなっています。

参加者は、将来農業に携わる仕事がしたいと考える学生がほとんどで、「将来自分が農業を行う場合のイメージが掴めた」「多くの農家に会わせてもらい、もう一度、この地域に訪れたい」という声をいただくことができました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kiriu0102@keio.jp (電話番号) 080-7754-1211

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) <https://www.instagram.com/agurikigyoubu>



基本情報



【年 齢】
67歳
【出身地】
福岡県久留米市
【転出元】
福岡県久留米市
【前 職】
音楽指導者
【活動時期】
R3.4.1～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

浜田市が取り組もうとしている「音楽を核とした定住促進事業」の業務内容に共感し、応募した。

浜田市HPから募集情報を収集した。また、石見地域で音楽活動を行っている一般社団法人石見音楽文化振興会からも情報を収集した。

今後の抱負・任期後の目標

音楽指導者向けの講習会や、市民対象の音楽塾など、音楽に触れる機会をもっと増やし、地域を音楽の力で、盛り上げたい。

活動内容

①音楽を核とした定住促進事業

市に移住した若手音楽家に対して、演奏技術と音楽指導技術の向上を目的として音楽指導を行った。

特に、これまで東京都からプロの演奏家を呼んで開催していたスクールコンサートにおいて、音楽指導を行い、学校の教育方針に沿った演奏会の実施に寄与した。

また、定期演奏会においては、若手音楽家と浜田高等学校吹奏楽部との共演の機会を作るなど、音楽指導技術の向上に尽力した。



②音楽愛好家や音楽活動団体等との交流促進

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民参加型の音楽演奏会などの予定している取組が未実施の状況。

③市内の中学校及び高等学校吹奏楽部の演奏技術と指導技術の向上

市内の中学校、高等学校、大学の吹奏楽部の指導を行い、音楽スキルの向上に尽力した。

特に、浜田高等学校吹奏楽部は、昨年引き続き、県大会において金賞を受賞し、高校魅力化の一助となった。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に比べると活動の機会は減少した。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

浜田市定住関係人口推進課

(メールアドレス) teiju@city.hamada.lg.jp

(電話番号) 0855-25-9511

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

藤重佳久のブログ : <https://ameblo.jp/fujisige1228/>

石見音楽文化振興会HP : <https://iwamiongaku.jp/>

基本情報



【年齢】
28歳
【出身地】
群馬県高崎市
【転出元】
茨城県つくば市
【前職】
株式会社JT
筑波大学大学院の学生
世界遺産専攻 修士課程
【活動時期】
R3.11～（2年目）

協力隊に応募したきっかけ

● **地方への移住、まちづくりに興味があった**
約9年間の東京での学生生活、社会人生活を経て、地方への移住とまちづくりに関わる機会を求めています。当初は大学院の研究が目的で、中期滞在の予定でしたが、大田市大森町の暮らしに馴染んでいく中で、本格的な移住を決意し、地域おこし協力隊に応募しました。

● **地元の方との接点を持ちたかった**
仕事を通じて、地元の方との密な交流も期待していました。

今後の抱負・任期後の目標

● **今後の抱負**
まだまだ大森町で知らないことが沢山あるので、色々な人と繋がりながら、少しずつ大森町のことを知っていきたくと思っています。特に、この町で生まれ育ってきたご年配の方々に、昔の大森についてお話を聞いてみたいです。

● **任期後の目標**
まだ何も考えられていません。色々な可能性を探りながら、様々な経験をしていきたいと思っています。

活動内容

● 地元の高校生とのプロジェクト

島根県立大田高校と私が所属する筑波大学大学院の研究室を繋ぎ、共同プロジェクトを行っています。世界遺産を舞台に、世界遺産周辺に住む高校生と世界遺産について学ぶ大学院生が相互に学び合う場となっています。R.4年度は高校生視点で石見銀山の認知度の現状調査、地元の方や飲食店へのインタビューを踏まえて、石見銀山の魅力をまとめたフリーペーパーを制作します。



● 大学生インターンシップの受け入れ

大田市をフィールドとした大学生のインターンシップを企画・運営しています。R.4年度は2件（2校）の受入実績です。大田市には多様な産業がある他、歴史や伝統芸能、海・山・川の自然環境など、教育資源に恵まれており、様々なテーマで対応することができます。短期滞在から中長期滞在まで、今後も発展させていく予定です。



● 修学旅行生に向けたプログラム開発

石見銀山の教育旅行の受け入れ態勢整備や歴史学習だけではなく、様々なテーマでプログラムを企画しています。人が住む世界遺産の町であること、今子どもが増えている町であることなど、ここで得られる教訓や学びを基に、講話や町並み案内、熊谷家を拠点にした体験プログラムなどを作っています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram



Facebook



基本情報



【年 齢】
23歳
【出身地】
岩手県宮古市
【転出元】
島根県仁多郡奥出雲町
【前 職】
なし（新卒のため）
【活動時期】
R4.04～（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

私は、大学4年時に教育の道を志し、高校生に伴走したいと考えていました。しかし、教職課程を履修しておらず、学校で働くという選択肢はありませんでした。模索していたところ、友人から高校魅力化プロジェクトを教えてもらい、高校で働くことができる高校魅力化コーディネーターという仕事を知りました。

奥出雲町地域おこし協力隊に応募した決め手は、横田高校が高校魅力化を先駆けた高校であること、説明会で話した協力隊の先輩と働いてみたいと思ったからです。

今後の抱負・任期後の目標

任期中は、2つのことに注力したいと考えています。1つは、一人でも多くの生徒の興味・関心を引き出し、伴走することです。もう1つは、横田高校でしかできないこと、学べないことを生み出していくことです。

任期後は、継続的に「人を育てる」ことに関わりたと思っています。目標は、大学、専門学校、高校などでゼミや授業を持つことです。私と関わる人達が主体的に自分色の人生を歩めるよう、私の経験や学びを還元していきたいです。

活動内容

地域連携

- ・高校生の地域活動の情報収集、募集、マッチング
- ・高校生が制作に関わる『奥出雲ふるさとカレンダー』制作のサポート
- ・『SHIMANEみらい共創CHALLENGE』の伴走



授業の魅力化

- ・たたら操業の授業を導入（理系科目の教員と授業を企画、運営。1, 2年生を対象とし、3回実施）
- ・1年生のキャリア教育授業『キミチャレ』の企画
- ・高校魅力化先進校の視察（津和野高校、隠岐島前高校、島根中央高校）



広報

- ・Facebookでの高校の情報発信
- ・ノベルティを制作
- ・学校案内パンフレットの制作
- ・地域みらい留学合同説明会（東京）に参加



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
島根県立横田高校（電話番号）0854-52-1511

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.facebook.com/yokota.dandan>（横田高校公式）

基本情報



【年 齢】
33歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
同上
【前 職】
横浜市職員
【活動時期】
R2.4～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

青年海外協力隊の同期が住んでいた川本町で、新しく女子高生が滞在する施設ができること、コーディネーターを募集していることを知りました。かつて青年海外協力隊で活動していく中で、高校生との関わりは私にとって「天職」だと感じていた私は実際に町を訪れ、移住を決断しました。

今後の抱負・任期後の目標

【卒業生に「まだいたの？」と言われること】
県立高校は先生方の異動があるので、卒業してから年月が経つと、知っている先生がいらっしゃらないケースがあります。
私はこの町で結婚しました。歳を重ねて子育て等も経験しながら寮で生徒たちをサポートし続け、訪ねてきた卒業生に「おかえり」が言える存在でありたいと思っています。

活動内容

●主役は寮生

オープンから2年以上過ぎ、高校の先生方と連携し、教育面でのアドバイスもいただきながら、寮生と関わってきました。オープンスクールの案内や月一回の大掃除、クリスマスやハロウィン等、寮生が主役になる場面が増えています。



●自分を健康にする力を育む

オープン当初から課題となっていたのが、残飯の多さでした。それをきっかけに、食育をメインテーマとし、講義の開催や調理の方との話し合いをしてきました。今後も、寮生が自分で自分を健康にする育む場所となるよう、引き続き活動します。(写真はひなまつりの特別献立)



●月一回の大掃除

大掃除を毎月するのは多いと感じられるでしょうか。「部屋の乱れは心の乱れ」という言葉があるように、生活している環境を清潔に保つことを大切にしています。また、毎月大掃除をしていく中で、時が経つにつれ当たり前のように協力しあっている寮生の姿は本当にすばらしいと思います。



連絡先

基本情報



【年 齢】
25 歳
【出身地】
島根県出雲市
【転出元】
島根県出雲市
【前 職】
島根県松江市立女子高等
学校 常勤講師
【活動時期】
R2.4~

協力隊に応募したきっかけ

前職では教員という立場から教育に関わっていたが、地方で開催されていた教育イベントを通し、地域おこし協力隊制度を利用した「高校魅力化スタッフ」としての教育への関わり方を知る。「地域とともにある教育」を町をあげて実践している土地で、学校の枠を超えた学びのあり方を模索すべく、協力隊へ応募。

今後の抱負・任期後の目標

大崎上島町の「町全体をフィールドにした学び」に小学生時代から触れる機会として、食を軸としたプログラム開発を行っていく。また、中高生と共に企画・運営することで、「地域で学び育つ近い世代のロールモデル」としての中高生と小学生の交流機会をつくる。これらを通し、島内進学率上昇・将来の島内人口増加を目指す。

活動内容

● 大崎海星高校内に設置されている公営塾「神峰学舎」における生徒支援

公営塾では教科講座の実施（数学を担当）や高校教員と連携した個別学習支援を行っている。さらに生徒それぞれが興味関心に沿って立ち上げたプロジェクトを形にし、やり抜くまでの伴走の役割も担う。右写真は、地域の農家の方から「古くなった倉庫を高校生たちにデザインしてもらえないか」という依頼を受け、同校のデザインに興味のある生徒たちと描き上げたものである。このように、地域の方から高校生が挑戦できる機会を提供いただく機会も増えてきている。



● 大崎海星高校における「教科横断的な視点を取り入れた授業」の実践

同校には「大崎上島学」と呼ばれる大崎上島町の地域資源を活用し、対話・協働・実践を通して学ぶ総合的な探究の時間がある。この総合的な探究の時間と教科授業の学びをつなぐ、また各教科同士の学びをつなぐ教科横断的な視点を取り入れた授業づくりを高校教員と連携して進めている。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.facebook.com/kangaku.osk>

基本情報



【年 齢】
42歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
福岡県福岡市
【前 職】
アートディレクター
【活動時期】
R3.4～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

私の妻がアーティストインレジデンスで萩市に滞在したきっかけから萩市への移住を希望していた。私の海外生活の経験や自身の制作活動を活かして、地域の魅力や新しい発見を発信していきたいと思った為、応募に至った。

*アーティスト・イン・レジデンスとは、芸術活動を行う人物を一定期間ある土地に 招聘し、その土地に滞在しながら作品制作を行う事業のことです。

今後の抱負・任期後の目標

地域の空き店舗、空き家物件などを活用しながら体験できる場所作りとして、作家を受け入れる事のできる施設などハード面の整備(宿泊、制作場所)を進めている。

環境に配慮した生活の体験ができる農泊を提供できるような場所づくりなど、地域資産活用事例を作りながら、継続可能な事業の運営を目指す。

活動内容

●はぎ文化財アート回遊week (アーティストレジデンス)

文化財施設活用を目指したユニークベニューとして、展示や演出などを実施している。招聘作家の短期滞在「アーティストステイ」では、閑散期の宿泊施設を活用して地域体験(リサーチ)を作り出しながら展示企画を進めた。表現活動の中で長期的に地域の魅力を発信していけるような取り組みを目指している。*はぎユニークベニュー事例紹介▶萩市HP：
<https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/55/h53518.html>



●浜崎旧正月提灯まつり

萩市の老舗提灯店の提灯を浜崎伝建地区に位置する文化財施設・旧山村家住宅と旧山中家住宅に飾り旧正月をお祝いする企画。萩市では雛祭りなどの行事を旧暦に合わせて祝う習慣があり、明治以前の太陰暦での習慣を呼び起こすような企画となっている。



●文化財で文化を繋ぐ(萩高版画ワークショップ)

地域の文化財を知り、地域で活躍する作家と交流することにより、市内高校生が地域を理解し、芸術への知見を深めてもらうことを目的として、市内の学校、文化財施設、作家と連携した現代版浮世絵のワークショップを実施。完成した作品は、萩市文化財施設にて展示され、市内外から多くの方が見に来られた。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) teijyu@city.hagi.lg.jp (電話番号) 0838-25-3360

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(萩市地域おこし協力隊Fb) <https://www.facebook.com/hagiokoshikyouryokutai/>
(萩市地域おこし協力隊HP) <https://www.city.hagi.lg.jp/site/hagitiikiokoshi/>

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
愛知県豊橋市
【転出元】
愛知県豊橋市
【前職】
舞台俳優
【活動時期】
R2.4～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

都会と地方での芸術文化の差を感じ、地方での芸術文化の発展に携わりたかったため。

今後の抱負・任期後の目標

今までのキャリアと協力隊で培った人脈を活かし鳴門をエンターテインメント溢れる街にするべく、発想力や企画力を武器に老若男女全ての人が笑顔になれる地域活性事業を展開し、地域・地方を創生するまちづくりに特化した会社を設立予定。
現在立ち上げている一般社団法人TSURIBITOの事業も拡大し、インバウンドや修学旅行生の誘致にも力を入れたい。

活動内容

●ミュージカルを中心とした舞台芸術活動

ミュージカルを中心とした舞台芸術の花を咲かせるべく、協力隊としてミュージカルスクールを運営し、年に一回から二回公演を行ったり、地域のイベントに出演したりしている。
今年度も2月にオリジナルミュージカル『仕合わせの色』を上演予定。



●自然体験活動の実施

【学び】を取り入れた自然体験活動をモットーに、季節ごとのイベントを展開。
椎茸の駒打ち体験・自由研究応援イベント・釣り体験・海岸清掃活動など、他団体とのタイアップイベントも含め年に12回以上イベントを打っている。



●演劇教育の推進

演劇教育を学校のカリキュラムに取り入れていただくべく、モニターとして受けていただける市内の学校を巡回しプレゼンを行う。
来年は芸術家派遣事業の実現に向けて準備中。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) narutokyoryokutai2020@gmail.com
(電話番号) 070-8366-5442

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

基本情報



【年 齢】
24歳
【出身地】
香川県高松市→神奈川県横浜市→愛媛県今治市
【転出元】
愛媛県今治市
【前 職】
大学生
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

県外での大学卒業後の就職において、地元でなにかできることがないか？と自分のやりたいこと・できることを見つけるため

今後の抱負・任期後の目標

イラストレーターとして生計を立てたい。
任期後にもこの地域に何年も残るものを残したい。

活動内容

●アイアイ今治Tシャツデザイン

アイアイ今治のTシャツをデザイン。
今治の特産や名物をイメージしてかわいらしく仕上げました。
今治シティマラソン2022のTシャツも手がけました。



●子育て支援施設へのイラスト提供

大西町の子育て支援施設:輪い和い親子広場にイラストを提供しています。
壁面を賑やかに飾ったり、誕生日プレゼント用のカードのデザインもしています。



●作品展示

大西支所内で、今までに制作した作品を展示する作品展を行いました。
立ち寄ってくださった方との交流の場にもなりました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)sumou@imabari-city.jp
(電話番号)0897-72-8772

基本情報



【年 齢】
28 歳
【出身地】
神奈川県 横浜市
【転出元】
神奈川県 横浜市
【前 職】
民間企業
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

活動内容

公営塾「ゆめしま未来塾」で、塾のない島の高校生の学びと進路を支える



上島町にたったひとつの高校、弓削高校には、現在79名の生徒が通っています。そのうち約半数の生徒が公営塾に在籍し、講師のサポートのもと、学校の授業の予習復習や、大学受験・就職試験対策を行っています。教科学習だけでなく、社会で求められる力の育成を目指す授業も積極的に挑戦しています。

協力隊に応募したきっかけ

- **募集内容に興味を持ったため**
教育を起点に地方活性化に取り組む『高校魅力化プロジェクト』にかねてより関心があり、その一環で自治体が運営している公営塾に勤務したいと思った。
- **瀬戸内海の島暮らしに憧れたため**
多島美の風景を楽しみたいという思いに加えて、上島町がPRする「日本一便利な離島」に惹かれた。



今後の抱負・任期後の目標

弓削高校魅力化プロジェクトを通じて、地域に学びをひろき、生徒の地域住民のつながりをつくる
高校は地域になくってはならないものであると同時に、地域も高校の学びの充実化にとってなくてはならないものです。地域と高校がWIN-WINの関係となれるよう、協力隊の立場を活かして活動していきたいと思えます。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
MAIL : yumeshima.miraijyuku.hikari@gmail.com
TEL : 080-1212-2030

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ゆめしま未来塾 公式サイト
<https://sites.google.com/view/yumeshima-miraijuku/home>



基本情報



【年齢】
49歳
【出身地】
埼玉県 草加市
【転出元】
東京都 台東区
【前職】
会社役員
【活動時期】
R4. 4~
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

転出元にて地域おこしイベントの実行委員長として活動していたが一段落したため、地方の地域おこしに興味をもちました。イベント活動をしている中での経験や人脈を活かしてお役に立てればと思い応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負
地元高校と地域の連携が主なミッションですので、関わった生徒さんが将来、一人でも須崎市の地域おこしに興味を持って活躍したいと思ってもらえるように手助けをしたい。

任期後の目標
東京での人脈を活かし須崎市とつなげるような商売をしたい。

活動内容

●須崎総合高校ひまわりプロジェクト

集落活動センターと地元高校が連携して、休耕地にヒマワリの種をまく作業の補助をいたしました。



●「総合的な探求の時間」授業補助活動①

須崎市を盛り上げることを目的に市内事業所と高校との連携のお手伝いをいたしました。高校生が事業所を訪ね何ができるかをリサーチした際の写真です。



●「総合的な探求の時間」授業補助活動②

高校生が須崎市内の美化に協力したいとの相談を受け以前は駅前であり現在は不要になったベンチをリメイクし公園へ再設置する活動のお手伝いをしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) project2@city.susaki.lg.jp (電話番号) 0889-42-1256

基本情報



【年 齢】
28歳
【出身地】
奈良県 奈良市
【転出元】
奈良県 奈良市
【前 職】
事務職
【活動時期】
R元.08～ R5.04
(4年目)

協力隊に応募したきっかけ

今までに行ったことのない土地で経験したことのない仕事をしてみたいと思い協力隊を志望しました。
数多くある協力隊のミッションのなかで一番興味のあった子育て支援を行っている自治体を探し、その中で一番規模の小さい自治体が大町町でした。
人口が少なく、規模が小さい町で地域活動を行うことで1人ひとりと丁寧に深い繋がりを作ることができると思い、大町町の協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

大町町は児童館や公園といった子どもの居場所がほとんどありません。そのため子育てサークルや大町町の協力隊が共同で運営しているフリースペースPeri.など子どもとその保護者が来ることのできる居場所作りを行ってきました。今後はこれらの居場所を今まで以上により多くの方にご利用いただけるような環境作りを進めていくとともに、育児について悩みを抱えている保護者が気軽に相談できるような体制作りを行っていきたいと思います。

活動内容

●子育てサークル“ふくふく”

毎月2回、0歳から3歳の乳幼児を対象として子育てサークルを実施しています。
製作や体育遊びなど毎回違うテーマを用意し、子どもも親も楽しめる子育てサークルを目指しています。
町内外問わず多くの方にご参加いただき、子育ての息抜きの場・輪作りの場となっています。



●地域交流拠点フリースペースPeri.

地域の方々によりどころとなる居場所作りを目的として大町町の協力隊が共同でR3年8月から開設しています。
幅広い年代の方の交流の場としてはもちろん、放課後の小学生の遊び場として毎日多くの子どもたちが遊びに来る居場所となっています。



●高校生と共同の地域イベントの実施

“コロナ禍で様々なイベントが中止になって地域での楽しい思い出が作れていない子どもたちのために何かしたい！”という想いを持つ町内の高校生と共同して子ども向けイベントの企画・実施をしています。
高校生が主体となり自由な発想で子どもたちが楽しめるイベントを作るためのサポートを行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) oomati.kosodate@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(大町町地域おこし協力隊公式LINEアカウント)



基本情報



【年 齢】
24歳
【出身地】
埼玉県 草加市
【転出元】
東京都 立川市
【前 職】
調理職
【活動時期】
R4.2～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

自然に囲まれた地域にIターンをしたかった。

今後の抱負・任期後の目標

多世代交流イベントの活性化や放課後児童クラブ新設など、奈留しまなび舎の活動の幅を広げていく。

任期後は島で事業を立ち上げたい。

活動内容

● 離島留学生の寮運営

奈留高校の存続のため、島外から高校に通いに来る離島留学生を受け入れるための男子寮を運営しています。

中学卒業後、親元を離れて島暮らしをしている高校生たちの自立した生活の支援や心身のケア、島暮らしを一緒に楽しむなどの活動をしています。



● 島の子どもたちのための放課後教室

島の小学生に向けた宿題・学習支援、中学生の受験勉強の補助などを行います。

月に一度、体験学習として島の資源を生かした“もの作り”や、自然体験、生活体験を通して「生きる力」を身に付ける活動をしています。



● 地域住民の多世代交流

子どもから地域の大人、お年寄りまでみんなが集い交流ができるイベントや講座、拠点づくりを行っています。

地域のニーズを聞きながら、多くの人が参加できるイベントを企画しています。

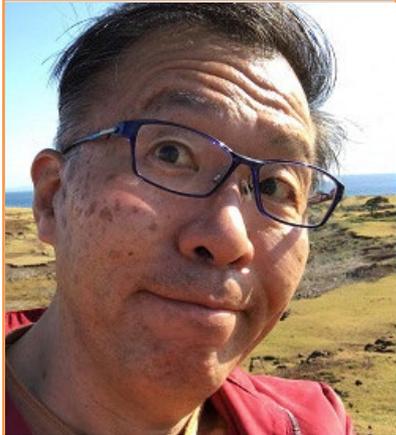


連絡先

【メディア等の取材連絡先】 一般社団法人奈留しまなび舎
(メールアドレス) narushimanabiya.goto76@gmail.com
(電話番号) 0959-64-4010

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(HP) <https://narushimanabikyogi.wixsite.com/my-site>
(Instagram) @naru.shimanabiya

基本情報



【年 齢】
57歳
【出身地】
長崎県 大村市
【転出元】
長崎県 長崎市
【前 職】
学習塾経営
【活動時期】
R3.11～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍による経営不振のなか、離婚などを経験して睡眠障害を患ったために転地療法を含めて、決心をしました。16年間学習塾の経営を行っており、思春期の子供たちの成長を見守ってきたので、その世代に対しての事業を探しており、この「ふるさと留学事業」のハウスマスターという職種に出会いました。

今後の抱負・任期後の目標

この1年を経過してこの事業の特殊性を痛感しております。離職率が高い部分をいかにクリアして後進を育てていくことが肝要と思います。個人的には3年後の任用後も継続していく選択肢もありますが、島内で島Caféか古民家活用の事業を始める所存です。

活動内容

●朝食・ランチ担当

趣味が料理ということもあり、夜勤時には朝食を準備しています。時々には調理人が手配できないこともあり、その場合はランチなどを提供しています。また台風などの緊急時も食事の準備をしています。



●留学生アクティビティ

離島という特性もあり、マリンスポーツも盛んなので、夏の体験としてダイビングをしたり、また島で陶芸の窯もあるので、寮生とそれぞれのアクティビティに引率し、体験を共有しています。



●地域行事への参加

都会から来ている留学生なので、地域との連携もあって、海岸清掃や餅つき大会など、都会では見慣れない行事にも引率して、積極的に参加しています。



連絡先

基本情報



【年齢】
48歳
【出身地】
熊本市
【転出元】
熊本市
【活動時期】
R4.4～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

昨年度菊池高校の授業に外部講師として携わっていました。今年度地域探究コースが新設され、菊池高校の生徒たちと もっと関わりたい、今までの経験を活かしたいと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

菊池市には高校が3校あり、それぞれの特色があります。その特性を活かして、3高校連携でなにかしらのプロジェクトを考えています。
また、小中学校でもキャリア教育支援が出来たらと思っています。
任期後は地域と高校、地域の方々と繋がられるような活動を行っていきたいと思います。

活動内容

菊池高校「菊高ジャック」

昨年度から開催されている地域を盛り上げるイベントで、少子化問題を考え、高校生が企画した婚活イベント、楽しみながら職業を学べる「キッズニア」を菊池高校バージョンにした「キクザニア」を企画。



菊池市役所との連携

菊池高校の地域探究コースの取り組みで菊池市役所の各課の課題を出してもらい、高校生がバーチャル市役所の職員として課題解決をするプロジェクト。市役所職員にもWSや授業に入ってもらい、今年度中に実現に向けて活動中。



九州ドラフト会議参加

移住定住担当の地域おこし協力隊と連携をして、九州ドラフト会議に参加。
高校生にも協力してもらい、菊池市の移住定住を増やす。また、参加することで菊池市のPRにも繋がる。

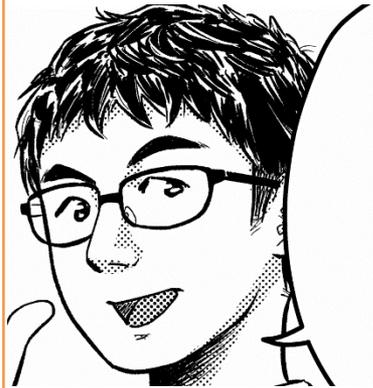


連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) hiramathu@miraizlab.com (平松氏の会社)
chiiki@city.kikuchi.lg.jp (菊池市地域振興課)
(電話番号) 0968-25-7250 (菊池市地域振興課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
菊池市ホームページ、インスタ、フェイスブック

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
福岡県福智町
【転出元】
熊本県熊本市
【前 職】
学生
【活動時期】
R2.4~
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

合志マンガミュージアムの館長に地域おこし協力隊として活動してみたいと提案されたことがきっかけです。もともと、学生時代に合志マンガミュージアムでアルバイトをしていた経験もあり、即戦力になるかもしれないと考え、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

合志マンガミュージアムを単にマンガが読めるだけの場所ではなく、マンガを描くなど…マンガ文化全体を体験できる場所というイメージを定着させたいです。

任期後はこういったマンガ関連事業に貢献できるような活動をやっていけたら良いなと思っています。

活動内容

●マンガ教室の企画・講師

合志マンガミュージアムの子ども向けPRの為、マンガ教室イベントを企画・講師を担当しています。現在は毎月2回、コロナ禍でも開催可能な安全で楽しめるイベントを企画しています。



●出張マンガ教室

地域の放課後等デイサービス・市民センター等の教育関連施設と連携して出張マンガ教室事業も行っています。福祉や教育の分野とコラボレーションしていき、マンガを通じた地域連携・活性化を狙っています。



●ミュージアムの美術業務

普段はマンガミュージアムのスタッフとして活動しており、主な担当は展示やチラシデザインなどの美術系の業務を担当しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス：合志MM) koshimm.info@gmail.com
(電話番号：合志マンガミュージアム) 096-273-6766

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Twitter) [@Anzai_Manga](https://twitter.com/Anzai_Manga) (instagram) [@anzai_manga_](https://www.instagram.com/anzai_manga_)

基本情報



【年 齢】
23歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前 職】
なし
【活動時期】
R3.5～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

大学時代から先生としてではなく、少し年上の人間として高校生と関わっていたため、仕事でもその経験を活かしたいと思い応募しました。募集情報はIndeedで収集しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標は、具体的にはまだ決まっていますが、今後の抱負として、生徒に考える場を提供することと、自分が考え続けることを重点に継続できればと考えています。

活動内容

●公営塾「あゆみ学舎」での学習指導

県立甲佐高校内に「あゆみ学舎」という公営塾が設置されており、その塾講師をしています。学校の勉強だけではなく、資格取得に向けた支援など、生徒それぞれの目標に応じて幅広く指導を行っています。

●「だがし屋さん」体験で社会経験の場提供

学習指導のほかにも、商いの体験や地域住民との交流を目的として、町内で行われる様々なイベントに高校生が行く「だがし屋」として参加しています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) kousakoueijuku@gmail.com

(電話番号) 080-2518-4618

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

<https://www.facebook.com/kousa.ayumigakusha/>

基本情報



【年齢】
23歳
【出身地】
東京都中央区
【転出元】
東京都中央区
【前職】
学生
【活動時期】
R3.4~
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

島津藩と縁のある母校の大学がいちき串木野市と連携・協力に関する協定を結んだことから、卒業生から協力隊が派遣されることになった。応募した決め手は、東京とは全く異なるいちき串木野市の雰囲気（海と山と街の距離が近く、面白いこだわりと熱意をもつ市民によく出会う）に魅力を感じたことと、所属先の企画政策課で自分のもつ英語やプレゼンテーションの能力を活かせると思ったから。

今後の抱負・任期後の目標

2年間で様々な活動に挑戦し、自分のできることや市が必要としていることが徐々にわかってきたと感じるので、今後はそれに注力し磨いていきたい。例えば、すでに活用している英語や動画に自然やスポーツなどの新しい要素を加えることで、さらに厚みのある活動をしていきたい。3年目には、今少しずつ取り組み始めている3Dアートや海外販路開拓の事業にも携わりたいと考えている。任期後はどこに住んでいるかまだわからないが、場所を選ばない現在の活動を引き続き行い、いちき串木野市と関わりをもち続けて、市役所と市民に恩返しをしていきたい。

活動内容

●国際交流・多文化共生イベント

小学校での英会話教室や大人向けの英会話講座など、主に英語を教える活動をしている。令和4年度からは、小学生に異文化交流、実験、講義などの多様な学びを提供する一日プログラム「いちき串木野市こども大学」（写真）を実施。他には「日本語サポーター養成講座」や「国際交流パネル展」など。



●動画で情報発信

教育委員会から移住者向けPR動画（写真）を依頼されたことがきっかけで、動画を使った情報発信にインパクトがあることが認知され、各課から依頼を受け解説動画を中心に制作。市役所の中で動画編集技術の習得に意欲がある人がいるようなので、職員向けに動画編集講座も行っている。



●イラスト・デザイン

前述のイベントで使うチラシ、講座の資料の表紙や挿絵などを作成している。また、市の特産物サワーポメロをモデルにした「探偵ポメロ」というキャラクターを作り、おいしい&楽しいスポットも紹介。令和4年度は、KKBふるさとCM大賞に応募するために初めてアニメーション（写真）を制作した。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0996-33-5628

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）<https://kanongoto.com> （Instagram）@kanon_goto

基本情報



【年 齢】
52歳
【出身地】
東京都八王子市
【転出元】
千葉県船橋市
【前 職】
国税職員
【活動時期】
R4.4月～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

鹿児島県での生活を視野に、住居を探しにさつま町を訪れていたところ、さつま町役場の職員から「地域おこし協力隊員」として高校魅力化コーディネーターを募集しているので応募してみないかとの声掛けがあった。町HPで活動内容や求める人物像を調べてたところ、自分のこれまでの経験が生かせる、やり甲斐のある仕事であったことから思い切って応募した。

今後の抱負・任期後の目標

当面は高校魅力化に繋がる活動に精一杯取り組み、地域みらい留学生や本校の生徒たちの高校生活がより充実するように、そして将来この町を担う人材に成長するように、支援をしていきたい。
任期後においても、さつま町で元気に暮らし、地域の支援を必要とする子供たちや高齢者への支援活動をしていきたい。

活動内容

●地域みらい留学365（高2留学）生徒募集活動

内閣府の「地域みらい留学」（都市部の在籍校と地方の高校とが連携して、高校2年生に1年間地方で学び、都市部ではできないことを経験してもらい関係人口を増やす事業）の採択校として生徒募集のための全国オンライン説明会を開催。現地での学校見学会では留学を希望する生徒、保護者をアテンド。



●町や地域、高校での人間関係づくり

町（行政）と地域（住民）、高校（生徒・教師）の、各方面で人間関係を築きながら、自分のすべきこと、求められていること、したいことを一つずつ周囲を巻き込み実現。



●HPやFacebook等のSNSを活用した情報発信

高校HP上でのブログを、より多くの人目に触れ知名度を上げることを目的に、高校のFBアカウントでも発信することにした。
また、協力隊のアカウントでは【高校魅力化コーディネーター】としてブログとは少し角度を変えて学校の魅力を発信中。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) satsumacho.coordinator@gmail.com
(電話番号) 0996-53-1111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <https://www.facebook.com/satsumachiikiokoshi>



基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
鹿児島県 始良市
【転出元】
京都府 京都市
【前職】
西陣織織元での販売
【活動時期】
R2.4~R5.3

協力隊に応募したきっかけ

地元からも近く、本町にある屋外美術館「霧島アートの森」には何度も訪れたことがあり、縁がある土地だったことと、大学まで美術を学んでいた経験から、ミッションである「芸術がある町」まちづくり事業での町おこしに興味を持ったため。

今後の抱負・任期後の目標

芸術家としての作家活動をする予定はなく、本町で就職したいと思っています。

活動内容

●町内アート作品のマップ作成

町内各地に設置しているアート作品をまとめたアートマップを作成しました。インターネット上のマップ作成サービスを利用し、QRコードを読み込めば現在地と連動するアートマップを閲覧することもできます。

(URL:<https://stroly.com/viewer/1611895367>)



●町内施設等でのアートワークショップ

町内の子育て支援センターや幼稚園、学童などに赴き、ものづくりワークショップを行いました。幼児向けの積み木やお正月用のしめ縄飾りなどを一緒に制作しました。



●棚田での田んぼアート

同町協力隊員が耕作放棄地だった棚田での稲作に取り組んでおり、その棚田で本町初の「田んぼアート」を試みました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) ijyuu@town.yusui.kagoshima.jp

(電話番号) 0995-74-3111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) 湧水町 地域おこし協力隊 @yusui_chiikiokoshi

基本情報



【年齢】

44歳

【出身地】

鹿児島県

【転出元】

宮崎県宮崎市

【活動時期】

R4.4～

(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

大崎町に外国人が増えていること、多文化共生に向けた取り組みを進めていることを知り、これまでの経験が活かせるのではと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

大崎町に住んでいる外国人と、町内の日本人が共に楽しく幸せに暮らしていけるような町づくりを目標としています。また、大崎町の子供たちに、広い視野を持ってもらえるような取り組みを行っていきたいです。後々は、大崎町に国際交流の拠点を作りあげていけたらいいなと思っています。

活動内容

●異文化クイズ

町内の小学生向けに、これまで訪れた海外の国々の紹介や、異文化理解をクイズ形式にして実施した。小学生1～6年生まで20名程の参加者だったが、『世界のことが知れてよかった』『文化の違いにびっくりした』『海外に行ってみたい』等、子供たちが楽しんでくれてとてもよいイベントとなった。



●日本語教室のサポート

鹿児島大学と連携して町内で行っている日本語教室のサポート業務に取り組んできた。外国人の方々からは、日本語を学ぶだけでなく、町内の日本人と接する良い機会だという声も聞けてこれからの多文化共生の取り組みに向けての大変価値のあるものとなった。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

大崎町役場 企画政策課

(電話番号) 099-476-1111